

# 江戸川区内中小企業の景況について

平成30年第3四半期  
(平成30年7~9月)



江戸川区生活振興部産業振興課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

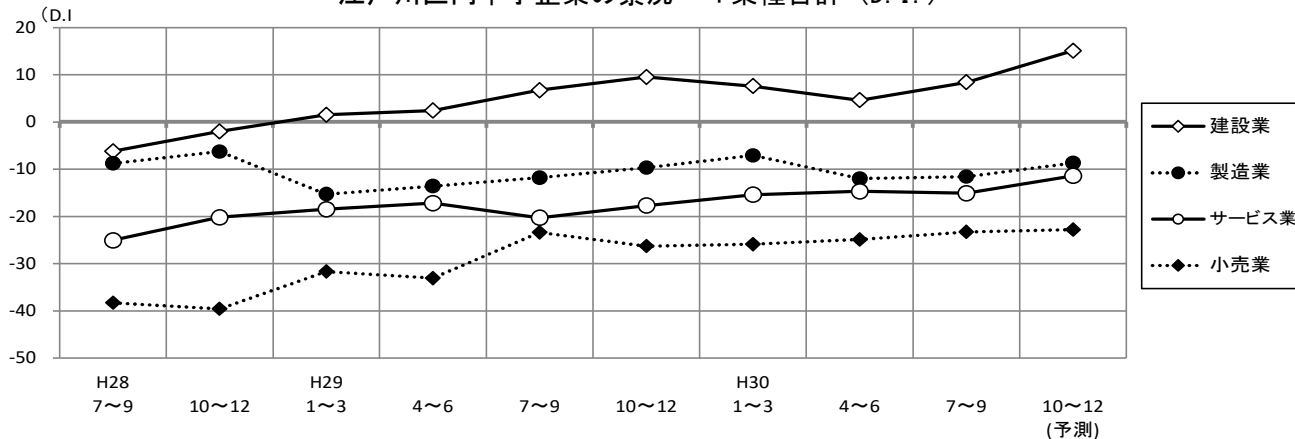


# 江戸川区内の中小企業の景況（平成30年7月～9月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況判断DIは前期（-13.0）から1.1ポイント改善し-11.9に。**  
 ～建設業はふたたび増勢が強まったが、製造業、サービス業、小売業は前期並で推移。～

江戸川区内中小企業の景況・4業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-11.9（前期は-13.0）と前期に比べ1.1ポイント改善した。業種別に見ると、建設業は3.8ポイント増勢が強まったが、製造業、サービス業、小売業はともに前期並の悪化幅で推移した。来期は、引き続き改善すると予想している。業種別には、建設業が増勢を大きく強め、製造業とサービス業は幾分持ち直すと見込んでいる。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-12.0	-11.6	0.4	-8.7	2.9
小売業	-24.9	-23.3	1.6	-22.8	0.5
サービス業	-14.7	-15.1	-0.4	-11.4	3.7
建設業	4.6	8.4	3.8	15.1	6.7
総合	-13.0	-11.9	1.1	-8.8	3.1

※前期（平成30年4～6月） 来期（平成30年10～12月）  
 ※「総合」は上記の4業種でのD.I.値

## ＜製造業＞

業況は前期同様の悪化幅が続いた。売上額は前期並の減少幅が続いたが、収益は減少幅が幾分拡大した。受注残はかなり減少を強めた。価格面では、販売価格はわずかに下降幅が縮小したが、原材料価格は大幅に上昇が強まった。原材料在庫数量は前期の適正範囲から品薄感が出てきた。

業種別に見ると、「プラスチック製品」は不調からわずかにプラスに転じた。「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」と「木材・木製品、家具・装備品」はわずかに持ち直し、「食料品」は前期並の悪化幅で推移した。「パルプ・紙、印刷、製本業」はわずかに悪化が強まり、「金属製品、建設用金属製品」と「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」は悪化傾向がかなり強まった。

来期の業況は幾分持ち直すと見込んでいる。売上額と受注残はともに今期並の減少幅で推移するが、収益は多少改善すると予想している。

## ＜小売業＞

業況は前期並の悪化幅が続いた。売上額と収益はともに大幅に持ち直した。価格面では、販売価格と仕入価格はともに前期同様の上昇幅で推移した。

業種別に見ると、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は増勢が一服したが、「衣服、呉服、身の回り品」は水面下ながら大きく持ち直した。「飲食料品」は悪化傾向がかなり強まった。

来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込んでおり、売上額は若干減少を強めるが、収益は今期同様の減少幅が続くと予想している。

## ＜サービス業＞

業況は前期同様の悪化幅が続いた。売上額と収益はともに減少・減益幅がやや縮小した。価格面では、料金価格は下降にわずかに転じ、材料価格は上昇が幾分弱まった。

来期の業況は若干持ち直すと見ている。売上額も多少改善するが、収益は今期並の水準で推移すると予想している。

## ＜建設業＞

業況はふたたび好感が増した。売上額は増加幅がわずかに縮小し、受注残と施工高はともに増加傾向が大きく後退した。収益は前期並の増加幅で推移した。価格面では、請負価格は下降に転じたが、材料価格は上昇傾向がわずかに弱まった。

来期の業況は好感がかなり強まると見ている。売上額、受注残、施工高はともに増加傾向が幾分強まり、収益は今期並の増加幅が続くと予想している。

# 製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ $\Delta 7.1 \rightarrow \Delta 12.0 \rightarrow \Delta 11.6$ ）は前期同様の悪化幅が続いた。

売上額（ $\Delta 5.5 \rightarrow \Delta 9.0 \rightarrow \Delta 10.9$ ）は前期並の減少幅が続いたが、収益（ $\Delta 7.4 \rightarrow \Delta 12.6 \rightarrow \Delta 16.8$ ）は減少幅が幾分拡大した。受注残（ $\Delta 5.0 \rightarrow \Delta 4.7 \rightarrow \Delta 12.0$ ）はかなり減少を強めた。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 8.7$ 予想）は幾分持ち直すと見込んでいる。売上額（ $\Delta 10.0$ 予想）と受注残（ $\Delta 11.2$ 予想）はともに今期並の減少幅で推移するが、収益（ $\Delta 13.0$ 予想）は多少改善すると予想している。

## （２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ $\Delta 1.5 \rightarrow \Delta 3.5 \rightarrow \Delta 1.0$ ）はわずかに下降幅が縮小したが、原材料価格（ $19.4 \rightarrow 17.2 \rightarrow 23.4$ ）は大幅に上昇が強まった。原材料在庫数量（ $1.6 \rightarrow \Delta 0.1 \rightarrow \Delta 3.5$ ）は適正範囲から品薄感が出てきた。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 1.3$ 予想）はほぼ横這いで推移し、原材料価格（ $16.1$ 予想）は大幅に上昇が弱まると見込んでいる。原材料在庫数量（ $\Delta 2.6$ 予想）今期並の品薄感で推移すると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 10.2 \rightarrow \Delta 8.2 \rightarrow \Delta 7.8$ ）は前期並の苦しさが続いたが、借入難易度（ $\Delta 1.6 \rightarrow \Delta 3.8 \rightarrow 1.7$ ）は厳しい状況から容易さが出てきた。

設備投資を「実施した」企業（ $20.4\% \rightarrow 18.8\% \rightarrow 17.0\%$ ）は前期から1.8ポイント減少した。

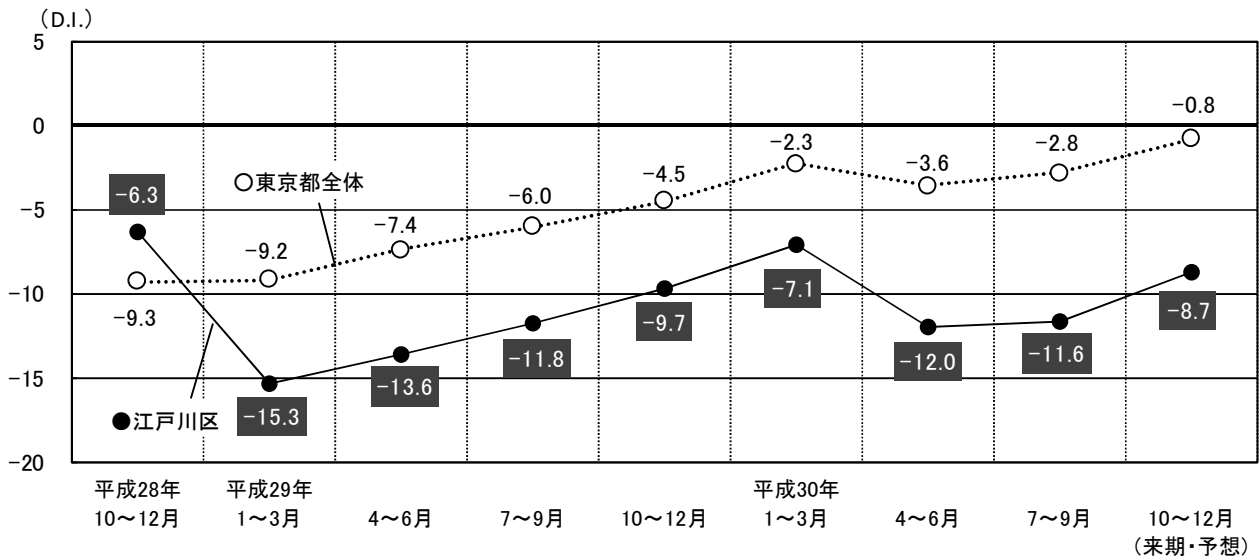
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 6.0$ 予想）は今期並の苦しさが続くと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

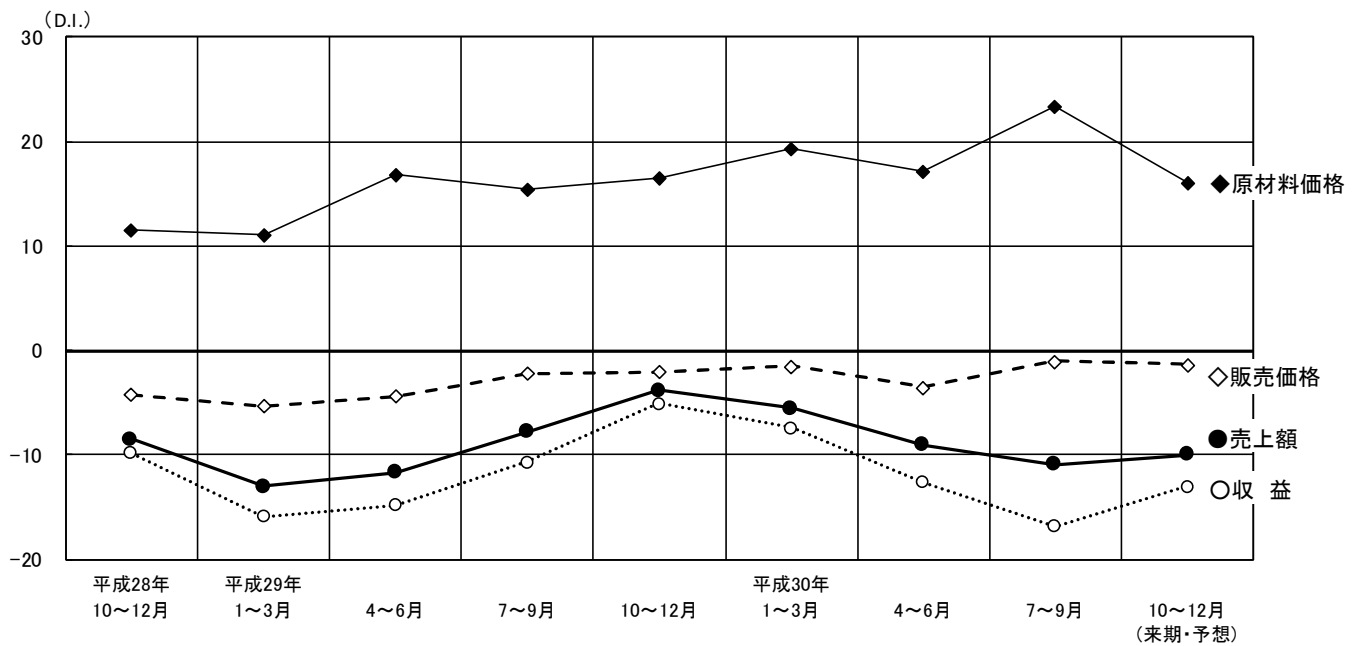
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（35.6%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（22.9%）、「利幅の縮小」（19.5%）、「原材料高」と「人手不足」（各16.1%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（51.7%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（43.4%）、「人材を確保する」（15.1%）、「情報力を強化する」（12.7%）、「新製品・技術を開発する」（10.7%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

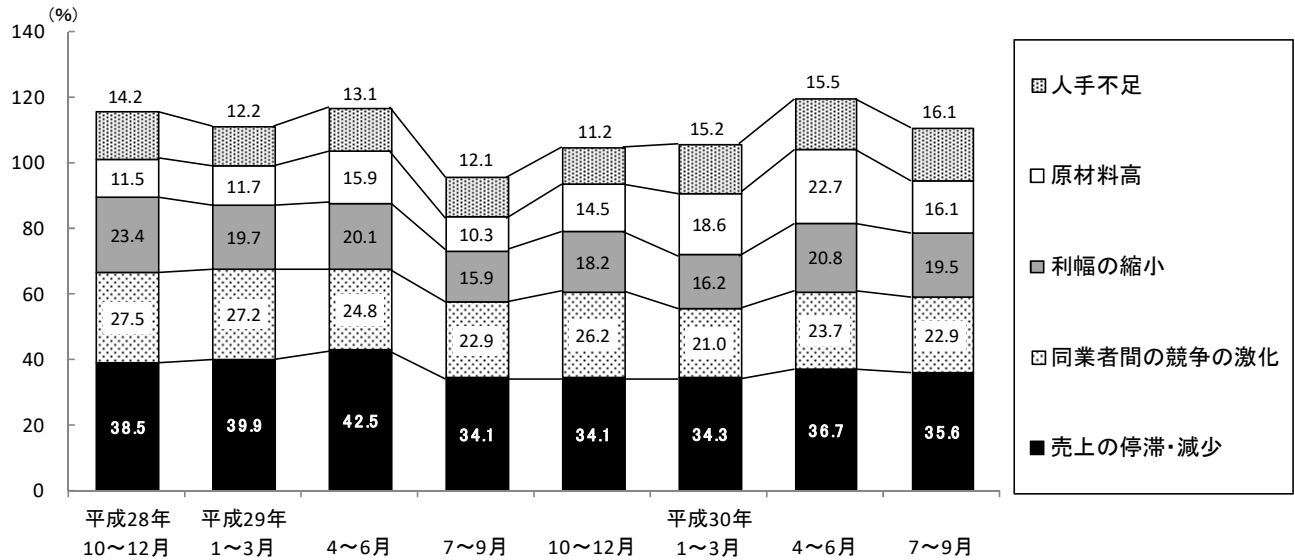


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



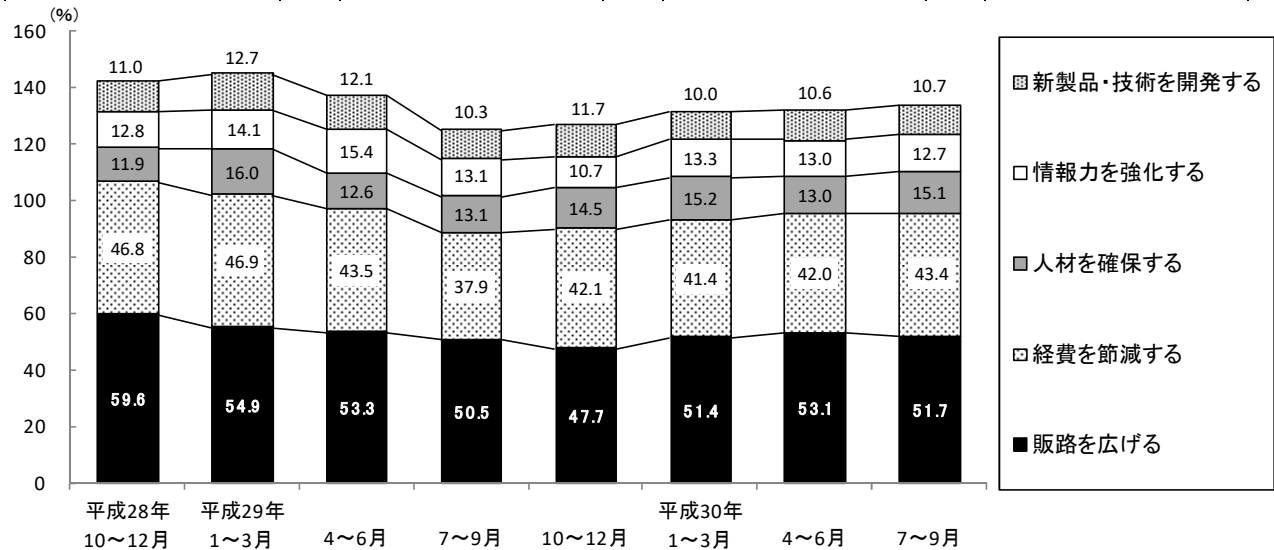
**【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)**

29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
売上の停滞・減少	34.1%	売上の停滞・減少	34.3%	売上の停滞・減少	36.7%	売上の停滞・減少	35.6%
同業者間の競争の激化	26.2%	同業者間の競争の激化	21.0%	同業者間の競争の激化	23.7%	同業者間の競争の激化	22.9%
利幅の縮小	18.2%	原材料高	18.6%	原材料高	22.7%	利幅の縮小	19.5%
原材料高	14.5%	利幅の縮小	16.2%	利幅の縮小	20.8%	原材料高	16.1%
工場・機械の狭小・老朽化	11.7%	人手不足	15.2%	人手不足	15.5%	人手不足	16.1%



**【製造業】 重点経営施策 (複数回答)**

29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
販路を広げる	47.7%	販路を広げる	51.4%	販路を広げる	53.1%	販路を広げる	51.7%
経費を節減する	42.1%	経費を節減する	41.4%	経費を節減する	42.0%	経費を節減する	43.4%
人材を確保する	14.5%	人材を確保する	15.2%	人材を確保する	13.0%	人材を確保する	15.1%
新製品・技術を開発する	11.7%	情報力を強化する	13.3%	情報力を強化する	13.0%	情報力を強化する	12.7%
情報力を強化する 提携先を見つける	10.7%	提携先を見つける	11.0%	新製品・技術を開発する	10.6%	新製品・技術を開発する	10.7%



## 製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 食料品

業況（ $\Delta 2.6 \rightarrow \Delta 3.0 \rightarrow \Delta 2.8$ ）は前期並の悪化幅で推移した。売上額（ $2.7 \rightarrow 1.9 \rightarrow \Delta 1.0$ ）はわずかに水面下に落込み、収益（ $\Delta 2.5 \rightarrow 0.8 \rightarrow \Delta 15.1$ ）と受注残（ $\Delta 3.6 \rightarrow 3.9 \rightarrow \Delta 4.2$ ）はともに大きく水面下に落込んだ。

販売価格（ $5.4 \rightarrow \Delta 0.7 \rightarrow 0.5$ ）はほぼ横這いで推移し、原材料価格（ $23.5 \rightarrow 33.4 \rightarrow 26.9$ ）は上昇が大幅に弱まった。

資金繰り（ $\Delta 13.1 \rightarrow 2.1 \rightarrow 0.5$ ）と借入難易度（ $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 8.4 \rightarrow \Delta 7.7$ ）はともに前期同様変わらず推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 9.8$  予想）は悪化傾向が大きく強まると見ている。売上額（ $\Delta 7.2$  予想）は減少幅が大きく拡大するが、収益（ $\Delta 8.3$  予想）は大きく持ち直し、受注残（ $1.2$  予想）も減少からわずかに増加に転じると見込まれている。販売価格（ $1.1$  予想）は今期並の水準が続き、原材料価格（ $15.4$  予想）は上昇が大幅に弱まると予想している。

### ② 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（ $\Delta 18.7 \rightarrow \Delta 31.8 \rightarrow \Delta 36.8$ ）は悪化傾向がさらに強まった。売上額（ $\Delta 18.2 \rightarrow \Delta 32.8 \rightarrow \Delta 44.4$ ）、受注残（ $\Delta 25.3 \rightarrow \Delta 37.2 \rightarrow \Delta 53.3$ ）、収益（ $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 28.9 \rightarrow \Delta 34.8$ ）はともに大きく減少・減益幅を強めた。

販売価格（ $\Delta 8.8 \rightarrow \Delta 16.4 \rightarrow \Delta 12.0$ ）は下降幅がやや縮小し、原材料価格（ $16.7 \rightarrow 12.5 \rightarrow 8.2$ ）は上昇がわずかに弱まった

資金繰り（ $\Delta 10.3 \rightarrow \Delta 19.2 \rightarrow \Delta 26.3$ ）は厳しさがかなり強まったが、借入難易度（ $\Delta 30.8 \rightarrow \Delta 30.0 \rightarrow \Delta 18.2$ ）は苦しさが大きく和らいだ。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 44.9$  予想）はさらに悪化が強まると見ているが、売上額（ $\Delta 22.6$  予想）と受注残（ $\Delta 30.8$  予想）は極端に持ち直し、収益（ $\Delta 11.6$  予想）も大幅に改善すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 9.2$  予想）は下降幅が若干縮小するが、原材料価格（ $12.4$  予想）は上昇がやや強まると予想している。

### ③ 木材・木製品、家具・装備品

業況（ $\Delta 15.3 \rightarrow \Delta 14.1 \rightarrow \Delta 12.1$ ）はわずかに持ち直した。売上額（ $\Delta 25.2 \rightarrow \Delta 27.7 \rightarrow \Delta 17.5$ ）、収益（ $\Delta 26.9 \rightarrow \Delta 29.2 \rightarrow \Delta 14.2$ ）、受注残（ $\Delta 11.9 \rightarrow \Delta 22.8 \rightarrow \Delta 6.0$ ）はともに減少・減益幅が大幅に改善した。

販売価格（ $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 2.6 \rightarrow \Delta 4.4$ ）はほぼ横這いで推移したが、原材料価格（ $0.3 \rightarrow \Delta 1.4 \rightarrow 13.9$ ）は大きく上昇し厳しい状況に転じた。

資金繰り（ $\Delta 17.0 \rightarrow \Delta 12.6 \rightarrow \Delta 4.0$ ）と借入難易度（ $\Delta 15.4 \rightarrow \Delta 21.5 \rightarrow \Delta 7.2$ ）はともに苦しさが大きく緩和された。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 4.3$  予想）は水面下ながら大きく改善すると見ている。売上額（ $\Delta 20.3$  予想）はやや減少が強まり、収益（ $\Delta 23.1$  予想）は減益幅がかなり拡大するが、受注残（ $\Delta 6.1$  予想）は今期同様の水準で推移すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 6.1$  予想）はほぼ今期並の下降幅で推移するが、原材料価格（ $6.1$  予想）は上昇が大きく弱まると予想している。

### ④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 22.2 \rightarrow \Delta 23.2 \rightarrow \Delta 25.7$ ）はわずかに悪化が強まった。売上額（ $\Delta 32.3 \rightarrow \Delta 17.8 \rightarrow \Delta 28.9$ ）、収益（ $\Delta 36.3 \rightarrow \Delta 12.1 \rightarrow \Delta 26.9$ ）、受注残（ $\Delta 26.0 \rightarrow \Delta 6.7 \rightarrow \Delta 20.8$ ）はともに減少・減益幅が大幅に拡大した。

販売価格（ $\Delta 7.2 \rightarrow 2.0 \rightarrow 8.8$ ）は上昇幅が大きく拡大し、原材料価格（ $19.0 \rightarrow 10.0 \rightarrow 22.8$ ）は大幅に上昇が強まった。

資金繰り（ $\Delta 17.4 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow \Delta 19.9$ ）は窮屈感が大幅に強まり、借入難易度（ $\Delta 10.0 \rightarrow \Delta 4.5 \rightarrow \Delta 9.5$ ）も厳しさが多少強まった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 25.6$  予想）は今期同様の悪化幅が続くと見ているが、売上額（ $\Delta 25.8$  予想）と受注残（ $\Delta 18.6$  予想）はともに減少幅が幾分縮小し、収益（ $\Delta 33.7$  予想）は減益幅がかなり拡大すると見込まれている。販売価格（ $0.5$  予想）は上昇傾向が一服し、原材料価格（ $12.5$  予想）は上昇が大幅に弱まると予想している。

## ⑤ 金属製品、建設用金属製品

業況（△15.5→△12.3→△20.8）は悪化傾向がかなり強まった。売上額（△6.0→△8.7→△13.6）は減少が幾分拡大し、受注残（△10.8→△1.4→△20.0）と収益（2.2→△7.0→△18.6）はともに減少・減益幅が大幅に強まった。

販売価格（△6.6→1.0→△9.5）は上昇から下降に大幅に転じ、原材料価格（30.2→21.0→28.6）は上昇がかなり強まった。

資金繰り（△2.9→△13.1→△14.7）は前期並の窮屈感が続いたが、借入難易度（3.2→△7.2→△4.3）は厳しさが多少緩和された。

来期の見通しは、業況（△18.3 予想）は多少持ち直すと見ている。売上額（△11.1 予想）と収益（△16.2 予想）はともに幾分改善するが、受注残（△20.9 予想）は今期並の減少幅で推移すると見込まれている。販売価格（△8.2 予想）は今期並の下降幅で推移するが、原材料価格（19.6 予想）は大幅に上昇が弱まると予想している。

## ⑥ 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（6.5→△7.3→△5.1）はわずかに持ち直したが、売上額（11.0→△8.4→△7.6）、受注残（7.0→△2.6→△1.7）、収益（0.3→△20.1→△18.3）はともに前期同様の減少・減益幅が続いた。

販売価格（0.3→△13.0→2.8）は下降から上昇に転じたが、原材料価格（17.8→17.0→25.9）はさらに上昇を強めた。

資金繰り（△16.1→△7.7→△3.8）は窮屈感が多少緩和し、借入難易度（7.0→9.3→13.3）はさらに容易さが増した。

来期の見通しは、業況（1.7 予想）は厳しい状況からわずかにプラスに転じると見ている。売上額（1.2 予想）は減少からわずかに増加に転じ、収益（△4.1 予想）も水面下ながら大幅に改善すると見込まれている。受注残（△0.1 予想）はほぼ横這いで推移すると見込まれている。販売価格（0.9 予想）は今期並の水準で推移するが、原材料価格（15.2 予想）は上昇が大幅に弱まると予想している。

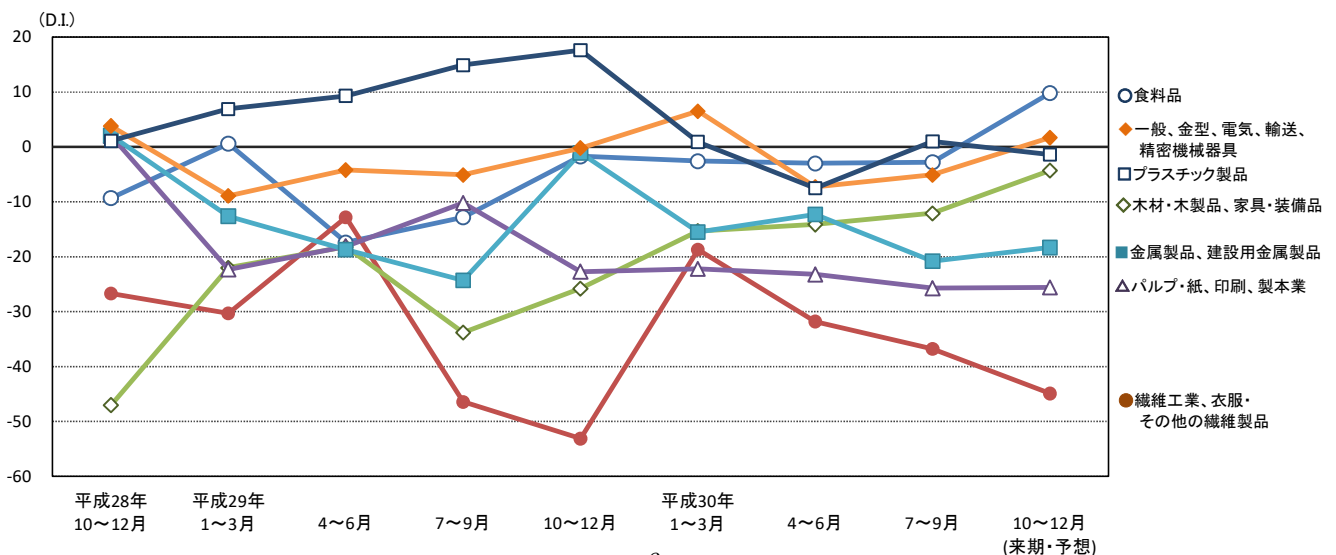
## ⑦ プラスチック製品

業況（0.9→△7.5→1.0）は不調からわずかにプラスに転じた。収益（3.3→△5.7→0.8）は水面下を脱し、売上額（△4.1→△7.5→△2.1）も水面下ながら持ち直したが、受注残（△7.1→△1.0→△5.5）はやや減少が強まった。

販売価格（4.7→△0.6→8.2）は再び上昇に転じたが、原材料価格（20.9→12.2→18.4）はかなり上昇が強まった。

資金繰り（5.2→△14.4→△0.1）は窮屈感がなくなり、借入難易度（15.4→0.0→25.0）は大幅に楽な状況となった。

来期の見通しは、業況（△1.4 予想）は悪化にわずかに転じると見ている。売上額（△4.4 予想）と受注残（△8.2 予想）はともに減少が幾分強まるが、収益（1.8 予想）は今期並の水準が続くと見込まれている。販売価格（10.1 予想）は今期並の上昇幅で推移し、原材料価格（14.0 予想）は上昇が幾分弱まると予想している。





# 小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 25.9 \rightarrow \Delta 24.9 \rightarrow \Delta 23.3$ ）は前期並の悪化幅が続いた。

売上額（ $\Delta 17.9 \rightarrow \Delta 25.0 \rightarrow \Delta 10.1$ ）と収益（ $\Delta 21.3 \rightarrow \Delta 26.9 \rightarrow \Delta 10.9$ ）はともに大幅に持ち直した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 22.8$ 予想）は今期並の悪化幅で推移すると見込んでおり、売上額（ $\Delta 13.1$ 予想）は若干減少を強めるが、収益（ $\Delta 12.3$ 予想）は今期同様の減少幅が続くと予想している。

## （２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $1.2 \rightarrow 5.6 \rightarrow 4.9$ ）と仕入価格（ $8.0 \rightarrow 10.7 \rightarrow 9.7$ ）はともに前期同様の上昇幅で推移した。

在庫数量（ $\Delta 3.2 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow \Delta 3.1$ ）は適正範囲からわずかに品薄感が出てきた。

来期の見通しについて、販売価格（ $3.1$ 予想）は今期並の上昇幅が続き、仕入価格（ $5.7$ 予想）は上昇が幾分弱まると見込んでいる。在庫数量（ $\Delta 5.4$ 予想）は品薄感がわずかに強まると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 17.1 \rightarrow \Delta 18.2 \rightarrow \Delta 14.8$ ）と借入難易度（ $\Delta 8.8 \rightarrow \Delta 16.9 \rightarrow \Delta 12.1$ ）はともに厳しさが幾分緩和された。

設備投資を「実施した」企業（ $1.1\% \rightarrow 6.1\% \rightarrow 3.2\%$ ）は前期から2.9ポイント減少した。

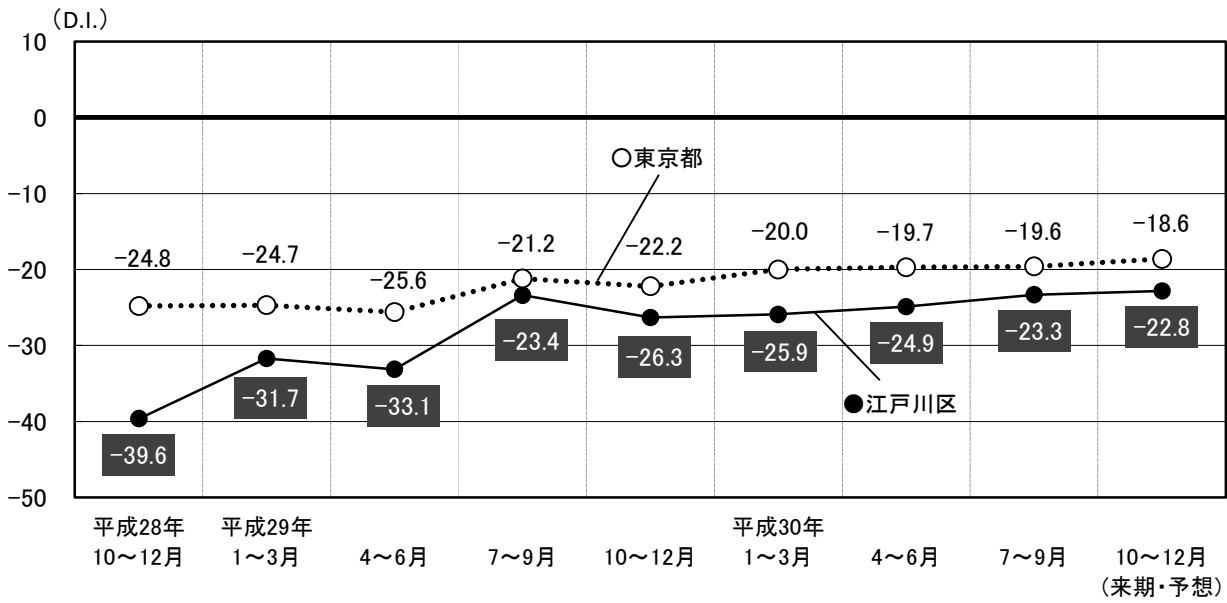
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 14.2$ 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

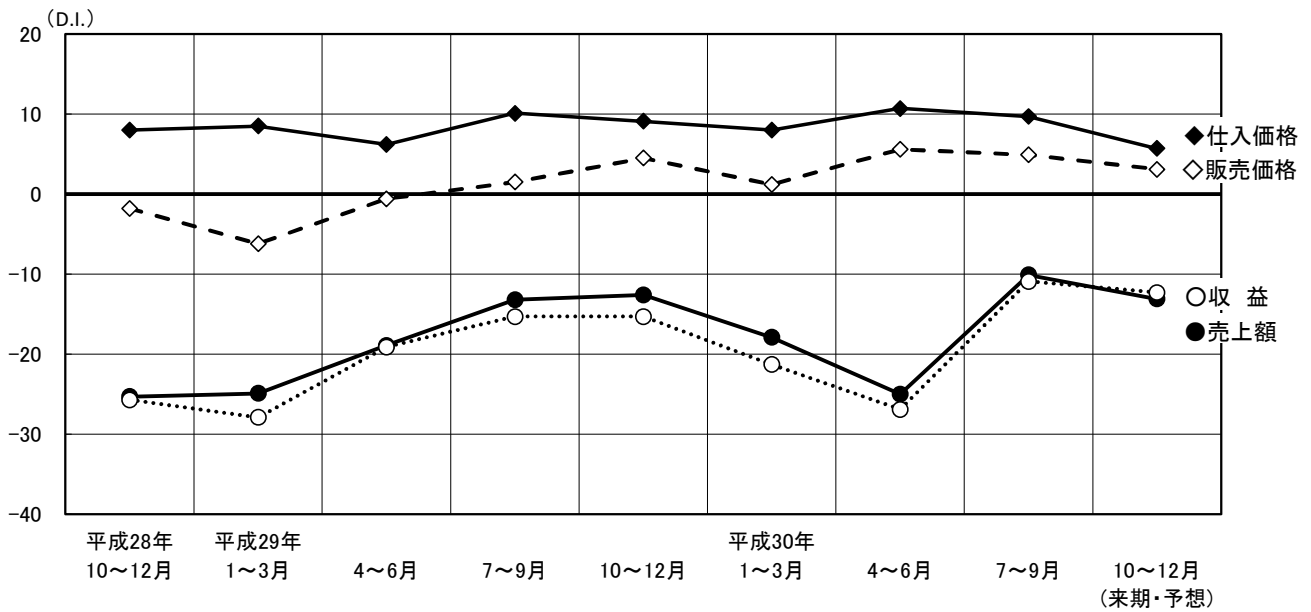
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（43.3%）が今期も最多となった。以下、「大型店との競争の激化」（30.9%）、「同業者間の競争の激化」（26.8%）、「商圈人口の減少」（11.3%）、「商店街の集客力の低下」（10.3%）の順であった。

重点経営施策では、「品揃えを改善する」（32.0%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（30.9%）、「宣伝・広報を強化する」（24.7%）「売れ筋商品を取り扱う」（19.6%）、「商店街事業を活性化させる」（17.5%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

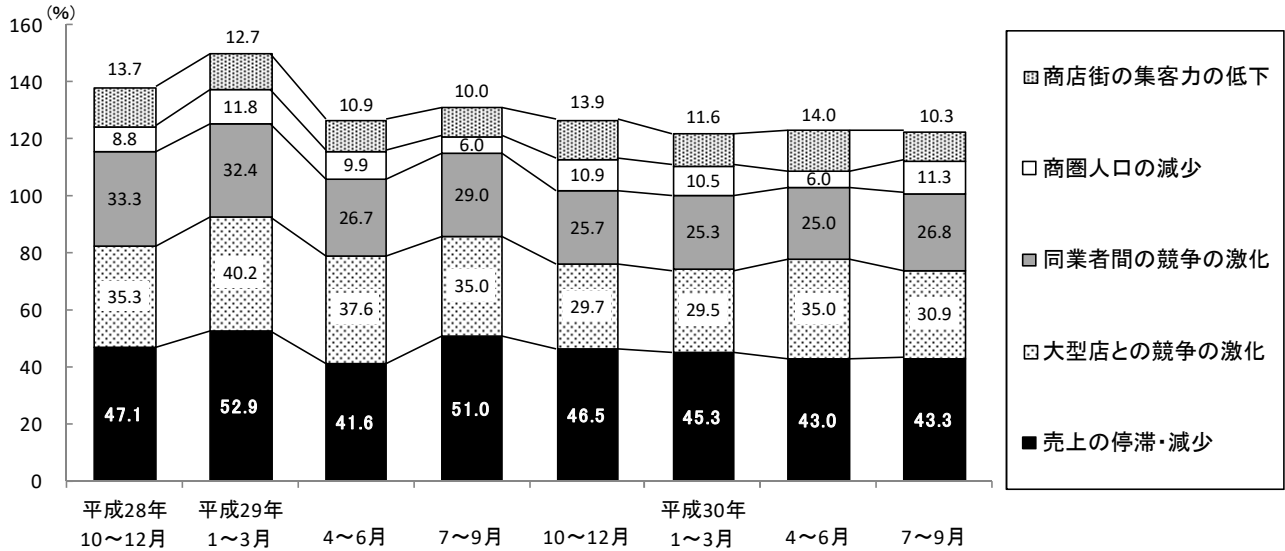


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



**【小売業】 経営上の問題点** (複数回答)

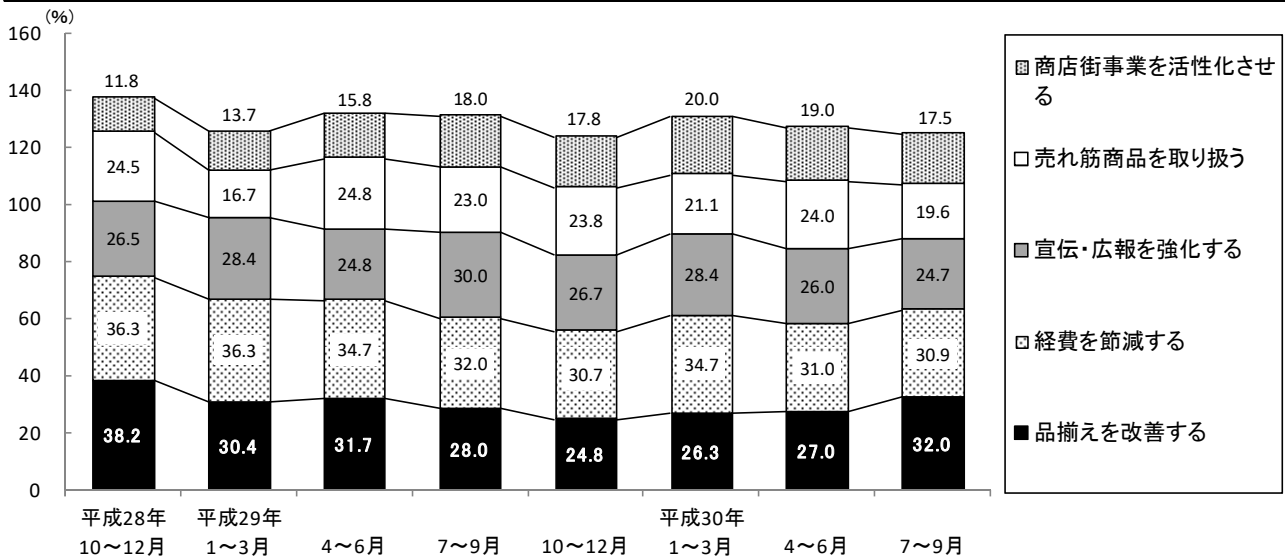
29年10～12月期	30年1～3月期	30年4～6月期	30年7～9月期
売上の停滞・減少	46.5%	45.3%	43.0%
大型店との競争の激化	29.7%	29.5%	35.0%
同業者間の競争の激化	25.7%	25.3%	25.0%
商店街の集客力の低下	13.9%	11.6%	14.0%
利幅の縮小 商圏人口の減少 取引先の減少	10.9%	10.5%	10.0%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

**【小売業】 重点経営施策** (複数回答)

29年10～12月期	30年1～3月期	30年4～6月期	30年7～9月期
経費を節減する	30.7%	34.7%	31.0%
宣伝・広報を強化する	26.7%	28.4%	27.0%
品揃えを改善する	24.8%	26.3%	26.0%
売れ筋商品を取り扱う	23.8%	21.1%	24.0%
商店街事業を活性化させる	17.8%	20.0%	19.0%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

## 小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 衣服、呉服、身の回り品

業況（ $\Delta 27.9 \rightarrow \Delta 28.9 \rightarrow \Delta 14.0$ ）は水面下ながら大きく持ち直し、売上額（ $\Delta 18.8 \rightarrow \Delta 34.1 \rightarrow \Delta 22.8$ ）と収益（ $\Delta 14.5 \rightarrow \Delta 29.6 \rightarrow \Delta 12.4$ ）もともに減少・減益幅が大幅に縮小した。

販売価格（ $\Delta 2.4 \rightarrow \Delta 14.9 \rightarrow \Delta 11.5$ ）は下降傾向がわずかに改善し、仕入価格（ $\Delta 4.2 \rightarrow \Delta 5.9 \rightarrow \Delta 6.5$ ）は前期並の好感で推移した。

資金繰り（ $\Delta 24.2 \rightarrow \Delta 22.2 \rightarrow \Delta 12.2$ ）は窮屈感が大きく和らいだが、借入難易度（ $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 27.3 \rightarrow \Delta 27.3$ ）は前期並の苦しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 18.6$  予想）は幾分悪化が強まると見ており、売上額（ $\Delta 25.1$  予想）と収益（ $\Delta 15.7$  予想）もともに減少・減益幅がやや拡大すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 12.3$  予想）と仕入価格（ $\Delta 7.4$  予想）はともに今期並の水準で推移すると予想している。

### ② 飲食品

業況（ $\Delta 23.2 \rightarrow \Delta 25.4 \rightarrow \Delta 36.4$ ）は悪化傾向がかなり強まったが、売上額（ $\Delta 17.0 \rightarrow \Delta 19.7 \rightarrow \Delta 16.5$ ）と収益（ $\Delta 25.3 \rightarrow \Delta 26.8 \rightarrow \Delta 23.8$ ）はともにわずかに改善した。

販売価格（ $\Delta 0.8 \rightarrow 10.6 \rightarrow 5.2$ ）は上昇幅がわずかに縮小し、仕入価格（ $7.3 \rightarrow 18.6 \rightarrow 11.8$ ）は上昇傾向が大きく弱まった。

資金繰り（ $\Delta 21.4 \rightarrow \Delta 20.8 \rightarrow \Delta 19.0$ ）は前期並の窮屈感が続き、借入難易度（ $\Delta 8.3 \rightarrow \Delta 20.0 \rightarrow \Delta 19.3$ ）も前期同様の厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 32.6$  予想）はわずかに持ち直すと見ている。売上額（ $\Delta 14.7$  予想）は今期並の減少幅で推移するが、収益（ $\Delta 17.5$  予想）はかなり改善すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 0.9$  予想）は上昇からわずかに下降に転じ、仕入価格（ $3.4$  予想）は上昇がかなり弱まると予想している。

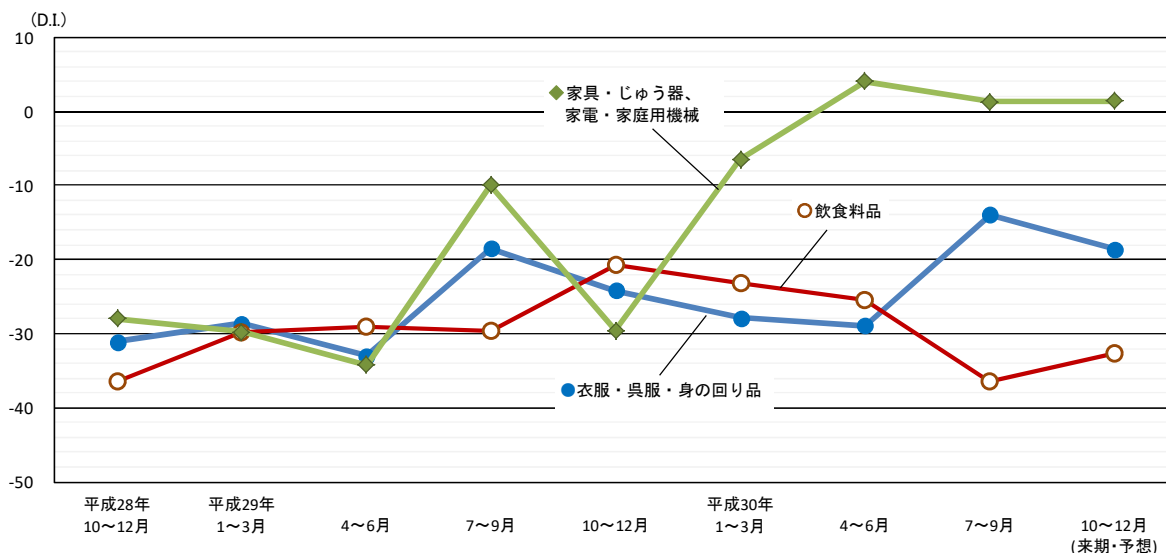
### ③ 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（ $\Delta 6.5 \rightarrow 4.0 \rightarrow 1.3$ ）は増勢が一服したが、売上額（ $\Delta 11.5 \rightarrow \Delta 3.1 \rightarrow 11.1$ ）と収益（ $\Delta 11.6 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow 19.1$ ）はともに減少から増加に大きく転じた。

販売価格（ $\Delta 9.2 \rightarrow \Delta 4.6 \rightarrow 0.6$ ）は下降傾向が一服したが、仕入価格（ $\Delta 3.1 \rightarrow \Delta 5.0 \rightarrow 0.7$ ）は好感にかげりが見えてきた。

資金繰り（ $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 32.4 \rightarrow \Delta 24.0$ ）は苦しさがかなり和らぎ、借入難易度（ $\Delta 10.0 \rightarrow \Delta 10.0 \rightarrow 9.1$ ）は窮屈感を脱し容易な状況となった。

来期の見通しは、業況（ $1.4$  予想）は今期同様の水準で推移すると見ている。売上額（ $\Delta 1.6$  予想）は大きく減少し水面下に落込み、収益（ $0.7$  予想）は増加傾向が大幅に弱まると見込まれている。販売価格（ $0.5$  予想）と仕入価格（ $0.6$  予想）はともに今期同様の水準で推移すると予想している。



# サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（△15.4→△14.7→△15.1）は前期同様の悪化幅が続いた。

売上額（△11.0→△9.1→△5.8）と収益（△12.3→△20.0→△14.8）はともに減少・減益幅がやや縮小した。

来期の見通しについて、業況（△11.4予想）は若干持ち直すと見ている。売上額（△3.0予想）も多少改善するが、収益（△14.5予想）は今期並の水準で推移すると予想している。

## （２）料金価格、材料価格

料金価格（0.8→1.3→△4.6）は下降にわずかに転じ、材料価格（18.0→18.4→15.8）は上昇が幾分弱まった。

来期の見通しについて、料金価格（△1.2予想）は下降傾向が一服するが、材料価格（14.5予想）は今期並の上昇幅が続くと予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△10.4→△14.3→△11.8）は厳しさがわずかに和らぎ、借入難易度（△4.1→△10.2→△2.2）は大幅に改善した。

設備投資を「実施した」企業（16.9%→12.7%→14.7%）は、前期から2.0ポイント増加した。

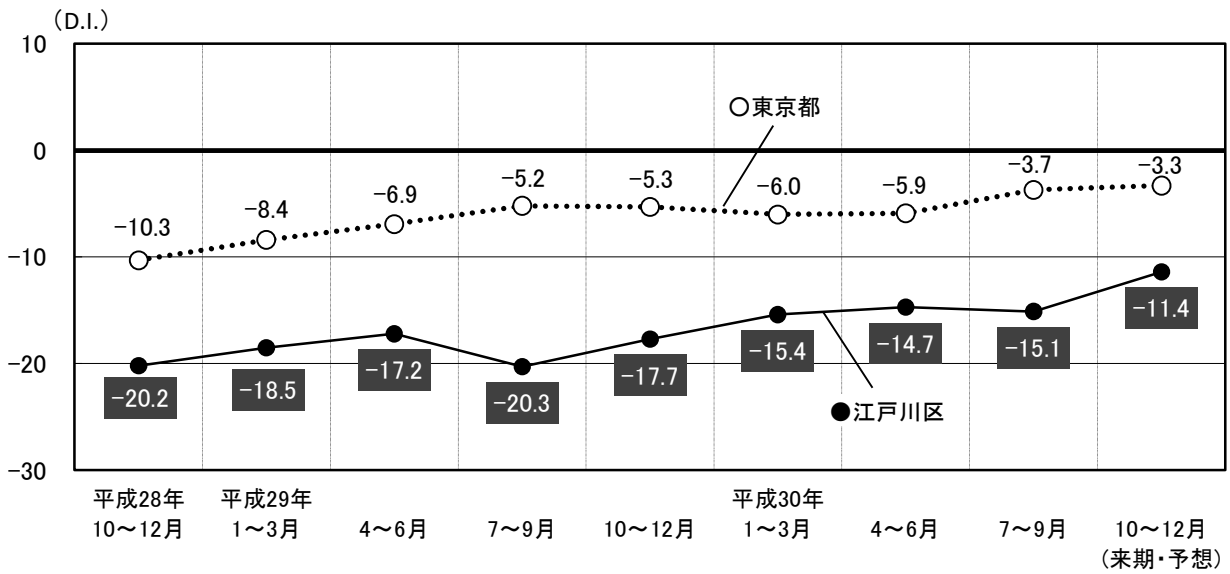
来期の見通しについて、資金繰り（△12.8予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

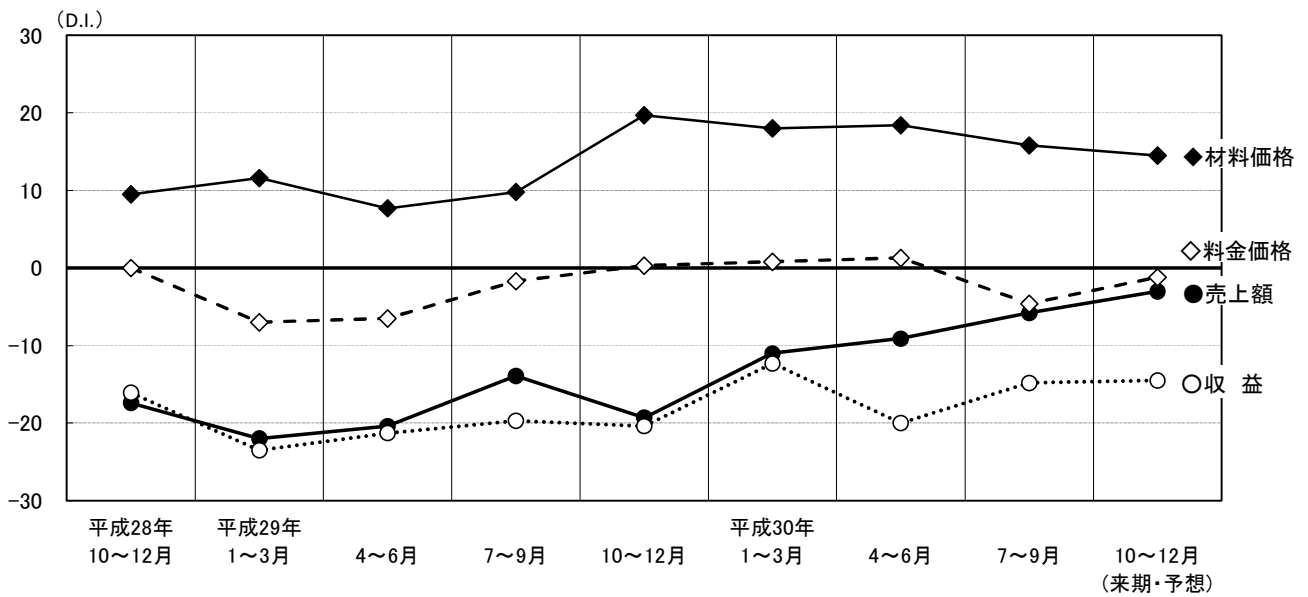
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」（38.7%）が今期も最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（25.3%）、「人手不足」（22.7%）、「材料価格の上昇」（13.3%）、「大企業との競争の激化」（12.0%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（36.0%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（28.0%）、「宣伝・広告を強化する」（22.7%）、「人材を確保する」（18.7%）、「技術力を強化する」（12.0%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

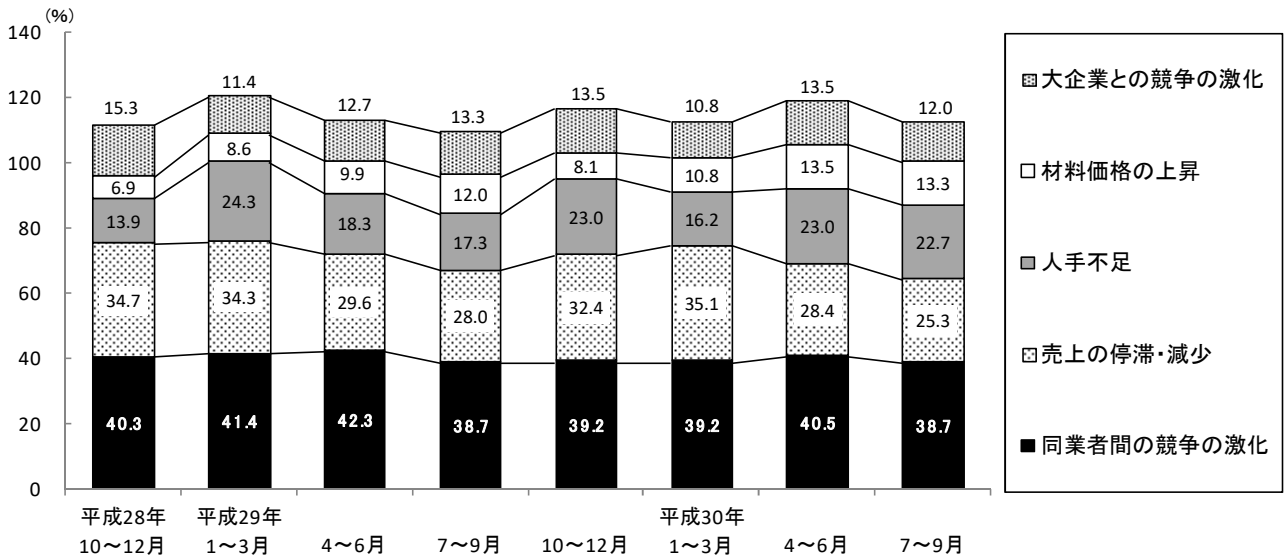


【サービス業】 売上額・収益・料金価格・材料価格の推移



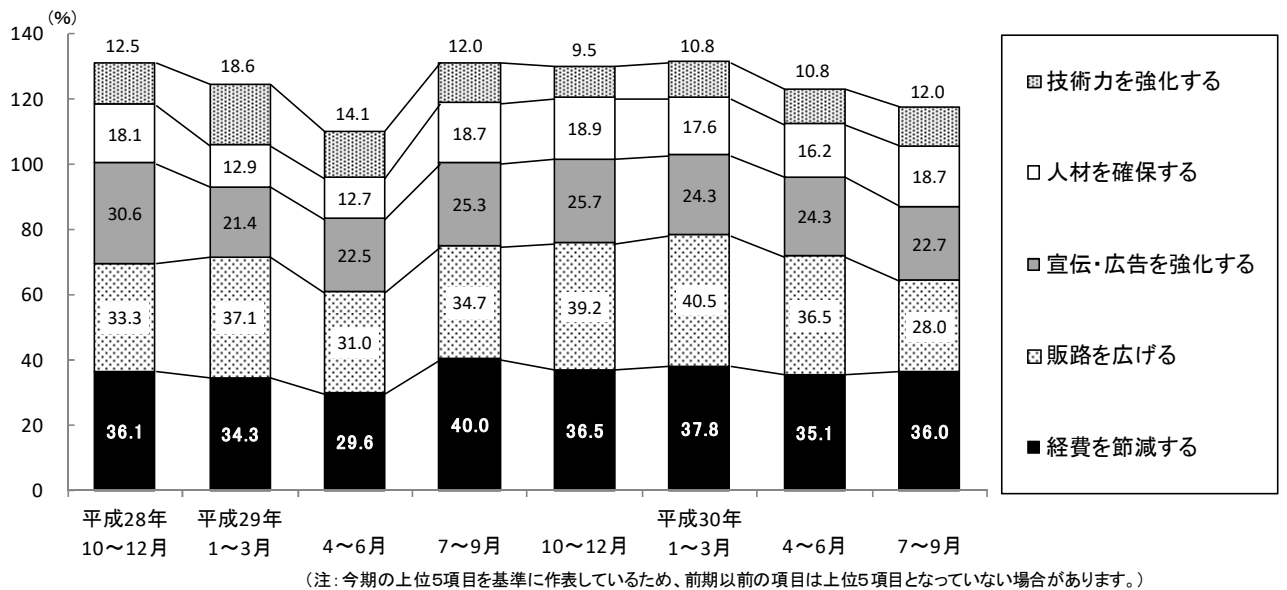
**【サービス業】 経営上の問題点** (複数回答)

29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
同業者間の競争の激化	39.2%	同業者間の競争の激化	39.2%	同業者間の競争の激化	40.5%	同業者間の競争の激化	38.7%
売上の停滞・減少	32.4%	売上の停滞・減少	35.1%	売上の停滞・減少	28.4%	売上の停滞・減少	25.3%
人手不足	23.0%	利幅の縮小	17.6%	人手不足	23.0%	人手不足	22.7%
利幅の縮小	14.9%	人手不足	16.2%	利幅の縮小	14.9%	材料価格の上昇	13.3%
大企業との競争の激化	13.5%	取引先の減少	13.5%	大企業との競争の激化 材料価格の上昇	13.5%	大企業との競争の激化	12.0%



**【サービス業】 重点経営施策** (複数回答)

29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
販路を広げる	39.2%	販路を広げる	40.5%	販路を広げる	36.5%	経費を節減する	36.0%
経費を節減する	36.5%	経費を節減する	37.8%	経費を節減する	35.1%	販路を広げる	28.0%
宣伝・広告を強化する	25.7%	宣伝・広告を強化する	24.3%	宣伝・広告を強化する	24.3%	宣伝・広告を強化する	22.7%
人材を確保する	18.9%	人材を確保する	17.6%	人材を確保する	16.2%	人材を確保する	18.7%
提携先を見つける	10.8%	教育訓練を強化する	13.5%	提携先を見つける	14.9%	技術力を強化する	12.0%



# 建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（7.6→4.6→8.4）はふたたび良好感が増した。

売上額（12.6→19.1→16.0）は増加幅がわずかに縮小し、受注残（6.8→20.3→10.3）と施工高（9.5→19.5→8.4）はともに増加傾向が大きく後退した。収益（△2.1→5.2→5.8）は前期並の増加幅で推移した。

来期の見通しについて、業況（15.1予想）は良好感がかなり強まると見ている。売上額（20.6予想）、受注残（14.1予想）、施工高（13.6予想）はともに増加傾向が幾分強まり、収益（6.9予想）は今期並の増加幅が続くと予想している。

## （２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（△0.4→0.1→△4.0）は下降に転じたが、材料価格（28.4→30.0→27.9）は上昇傾向がわずかに弱まった。

在庫数量（△2.7→△1.1→△1.8）は前期並の適正範囲が続いた。

来期の見通しについて、請負価格（1.5予想）はふたたび好転し、材料価格（20.2予想）は上昇傾向がかなり弱まると見ている。在庫数量（△3.7予想）はわずかに不足感が現われると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△8.0→△5.7→△5.6）と借入難易度（1.7→△3.8→△5.6）はともに前期並の窮屈感が続いた。

設備投資を「実施した」企業（25.8%→21.3%→16.4%）は前期から4.9ポイント減少した。

来期の見通しについて、資金繰り（△3.5予想）は窮屈感がわずかに弱まると予想している。

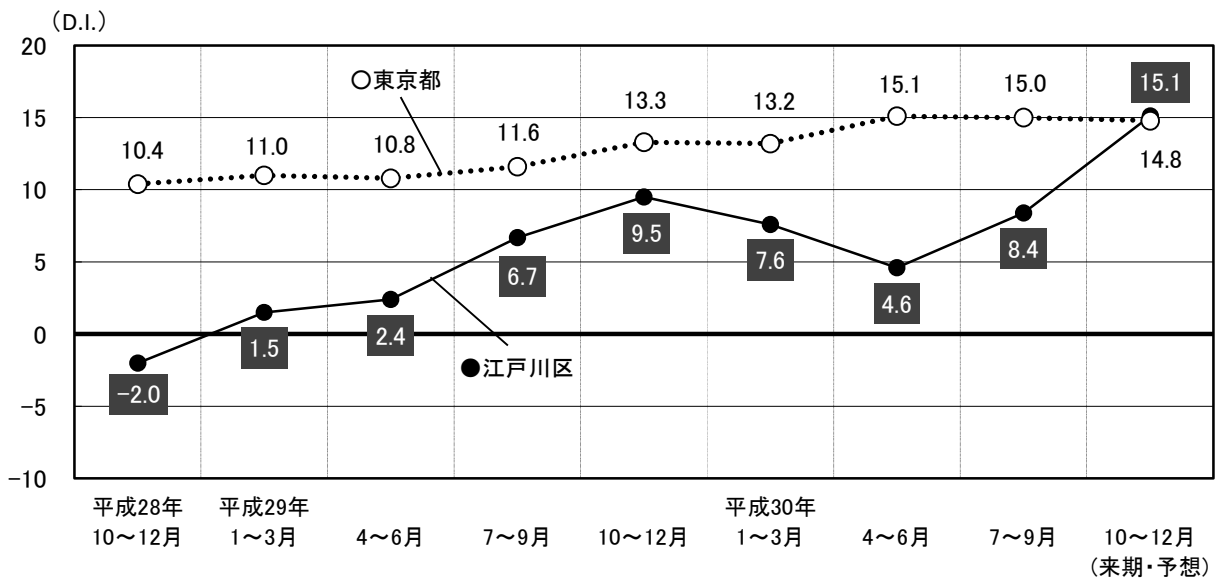
## （４）経営上の問題点、重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」（34.4%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（25.0%）、「売上の停滞・減少」（21.9%）、「大手企業との競争の激化」（20.3%）、「材料価格の上昇」（18.8%）の順であった。

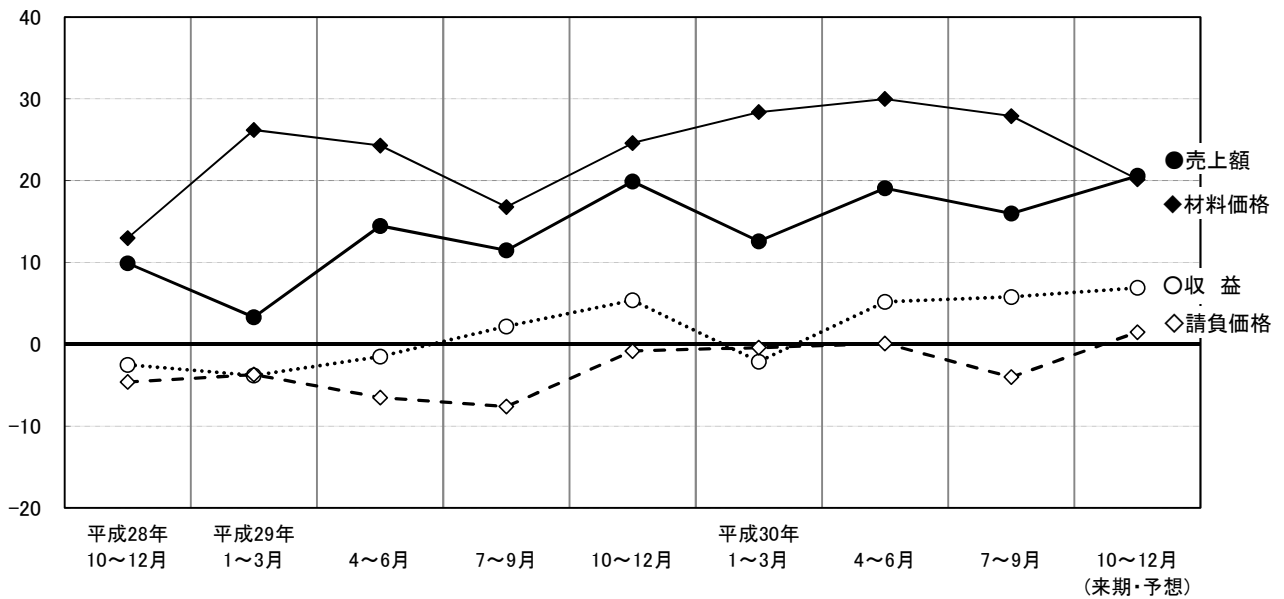
重点経営施策では、「人材を確保する」（43.8%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（32.8%）、「販路を広げる」（31.3%）「情報力を強化する」（20.3%）、「技術力を高める」（17.2%）の順であった。



【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

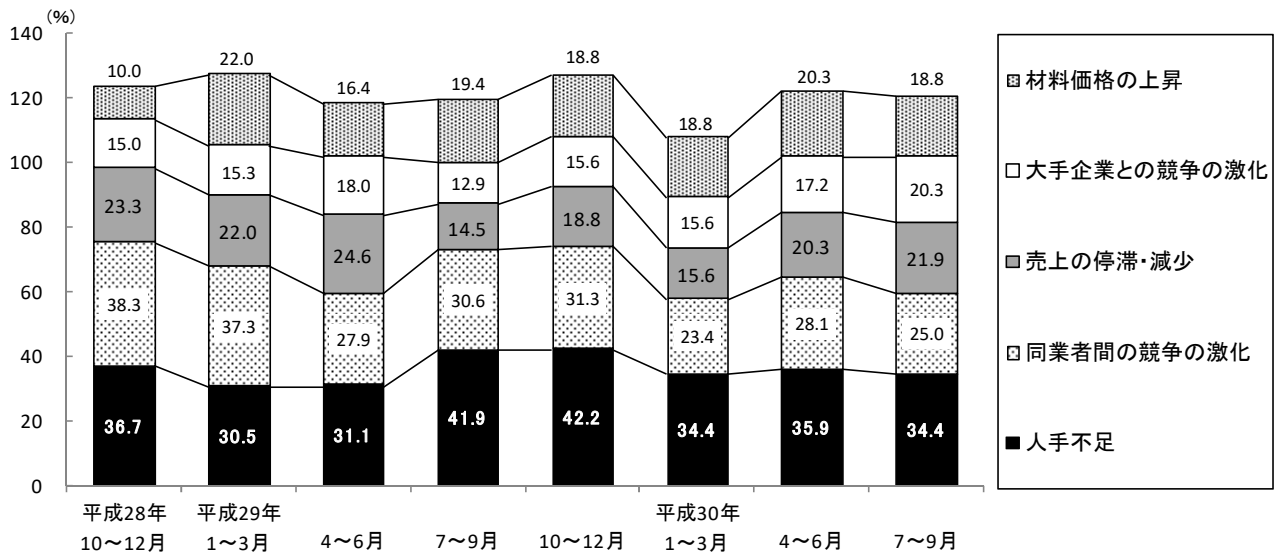


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



**【建設業】 経営上の問題点 (複数回答)**

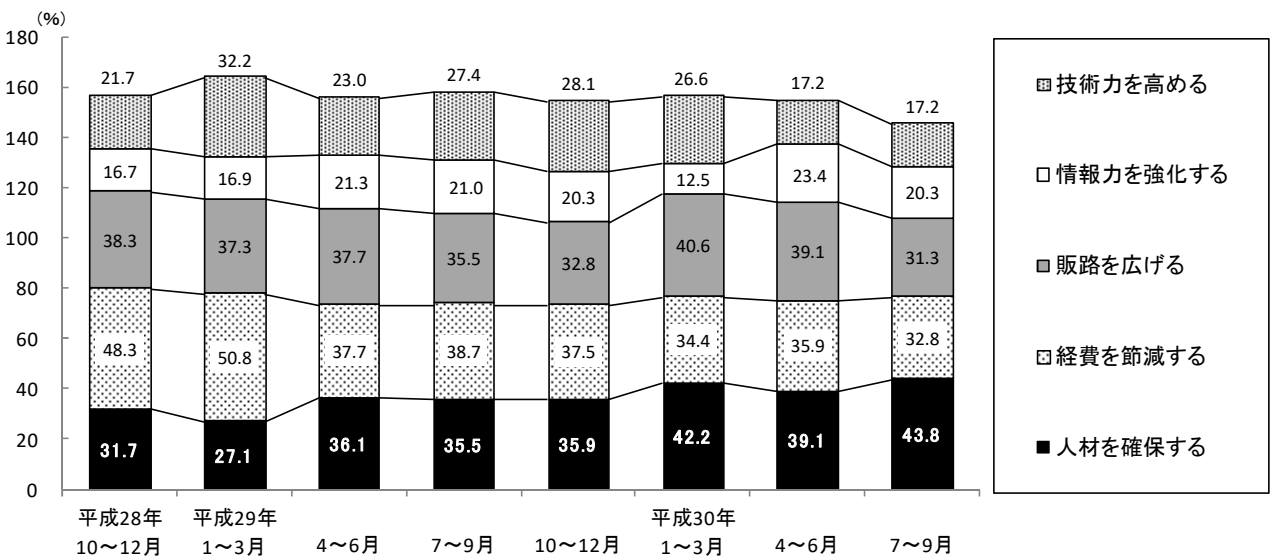
29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
人手不足	42.2%	人手不足	34.4%	人手不足	35.9%	人手不足	34.4%
同業者間の競争の激化	31.3%	同業者間の競争の激化	23.4%	同業者間の競争の激化	28.1%	同業者間の競争の激化	25.0%
材料価格の上昇	18.8%	材料価格の上昇	18.8%	材料価格の上昇	20.3%	売上の停滞・減少	21.9%
売上の停滞・減少		売上の停滞・減少		売上の停滞・減少		大手企業との競争の激化	
利幅の縮小	17.2%	大手企業との競争の激化	15.6%	大手企業との競争の激化	17.2%	材料価格の上昇	18.8%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

**【建設業】 重点経営施策 (複数回答)**

29年10～12月期		30年1～3月期		30年4～6月期		30年7～9月期	
経費を節減する	37.5%	人材を確保する	42.2%	人材を確保する	39.1%	人材を確保する	43.8%
人材を確保する	35.9%	販路を広げる	40.6%	販路を広げる	32.8%	経費を節減する	32.8%
販路を広げる	32.8%	経費を節減する	34.4%	経費を節減する	35.9%	販路を広げる	31.3%
技術力を高める	28.1%	技術力を高める	26.6%	情報力を強化する	23.4%	情報力を強化する	20.3%
情報力を強化する	20.3%	情報力を強化する	12.5%	技術力を高める	17.2%	技術力を高める	17.2%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

## 調査員のコメント

---

- ・外国製品の増加により、生産及び販売量が減少している。(袋物製造、2名)

出典：『景況情報ガイド』都内中小企業景況調査結果 平成30年7月～9月期より江戸川区分を抜粋

## 経営者から寄せられた声

---

### [景況全般について]

- ・少し勢いが止まった。ただし、来月辺りからまた仕事が増えそうだ。(製造業)
- ・順調。自社単独主催の展示会等で地域の方に自社を周知してもらう活動をしている。(卸売業，小売業)
- ・市場が飽和しているように見える。(卸売業，小売業)
- ・郵便局、他の運送業者が生き物の運送から撤退。そのため厳しい状態が続いている。何時倒産してもおかしくない。(卸売業，小売業)
- ・建築業界、特に一戸建の新築の動きが悪い。それに付随する業界は最悪。(建設業)
- ・この3ヶ月は気候要因での来院数の減少があった。(医療，福祉)

### [受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・10月末まで受注残を抱えて忙しく操業をしている。(製造業)
- ・9月後半の工事受注は、一服感があり受注減となった。10月以降の既受注はやや低調であるが、引き合い数は十分あり、長期工事もすでに入り安定受注が見込まれる。(建設業)
- ・仕事の依頼は少し増えているが、作業員不足のため苦しんでいる。法定福利費の負担が多く利益が出ない。(建設業)
- ・建設材料が値上がりし、得意先である工務店が仕事を取りづらくなっているようだ。(学術研究，専門・技術サービス業)
- ・7、8、9月を比べると9月が一番来店者数が少なく、売上が伸びなかった。(宿泊業，飲食サービス業)

### [経営上の課題]

- ・求人を継続して行っている。2名の採用ができたが、人手不足の解消には至っていない。(建設業)

### [経営改善等に向けての取組み]

- ・偏差値に囚われない新しい人材育成に取り組んでおり、単純な数値では表せない新しい角度からのアプローチにより生徒の獲得を目指している。(教育，学習支援業)

## 江戸川区の企業倒産動向

（平成30年7月～9月）

平成30年7～9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比25.0%増の10件（前期8件）、負債総額は同88.6%減の2億37百万円（同20億70百万円）であった。業種別にみると、件数では製造業が5件で最も多く、負債総額も1億55百万円で最多であった。次いで情報通信業・運輸業が2件で36百万円であった。

### 江戸川区の業種別倒産動向

（単位：件・百万円）

	前年同期 平成29年7～9月		前期 平成30年4～6月		今期 平成30年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
卸売業	1	22	0	0	0	0
サービス業	5	547	1	30	1	10
建設業	1	30	3	1,906	0	0
宿泊業・飲食サービス業	3	3,053	0	0	1	20
製造業	3	260	2	84	5	155
不動産業	0	0	1	20	0	0
小売業	4	419	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	1	10	0	0	2	36
その他	0	0	1	30	1	16
合計	18	4,341	8	2,070	10	237

## 東京都の企業倒産動向

（平成30年7月～9月）

平成30年7～9月期の東京都の倒産件数は、前期比6.8%増の408件（前期382件）、負債総額は同13.9%減の1,652億円（同1,918億円）であった。業種別にみると、件数では卸売業が78件で最も多く、次いでサービス業が74件であった。負債総額は小売業が1,029億円で最も多く、以下、卸売業が161億円、製造業が156億円、サービス業が140億円と続いた。

### 1. 概況

（単位：件・億円）

	前年同期 平成29年 7～9月	前期 平成30年 4～6月	今期 平成30年 7～9月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	404	382	408	6.8%
負債総額	1,015	1,918	1,652	-13.9%	62.8%

### 2. 原因別倒産動向

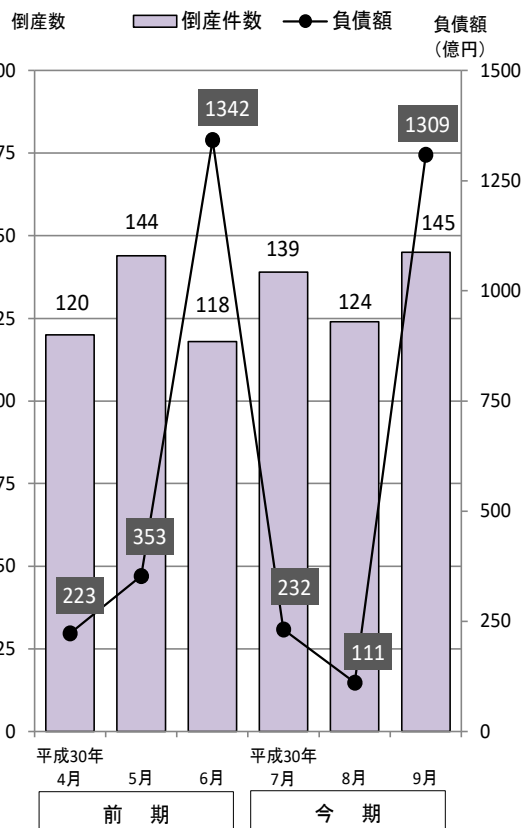
（単位：件）

	前年同期 平成29年 7～9月	前期 平成30年 4～6月	今期 平成30年 7～9月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	309	274	314	14.6%
既往のしわ寄せ	29	26	20	-23.1%	-31.0%
売掛金等回収難	2	2	2	0.0%	0.0%
(不況型計)	340	302	336	11.3%	-1.2%
放漫経営	26	24	19	-20.8%	-26.9%
過小資本	5	4	7	75.0%	40.0%
他社倒産の余波	20	31	29	-6.5%	45.0%
信用性低下	1	4	1	-75.0%	0.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	3	4	33.3%	-
その他	12	14	12	-14.3%	0.0%
合計	404	382	408	6.8%	1.0%

### 3. 業種別倒産動向

（単位：件・億円）

	前年同期 平成29年7～9月		前期 平成30年4～6月		今期 平成30年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	32	107	35	41	34	156
卸売業	81	228	59	278	78	161
小売業	38	43	46	41	45	1,029
サービス業	77	114	90	423	74	140
建設業	55	51	34	30	56	61
不動産業	16	11	20	92	14	15
情報通信業・運輸業	54	245	55	36	51	57
宿泊業・飲食サービス業	38	6	24	8	39	13
その他	13	209	19	968	17	20
合計	404	1,015	382	1,917	408	1,652



注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=498事業所)の回答を集計したものです。業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	① 10年後の自社の経営展望と社長の年齢階層	「現状維持・横ばい」53.2%、「事業拡大」17.3% 『60歳代以上』64.0%
	② 経営者としていつまで現役を続けるか	『具体的な年齢の目途がある』34.9% 『具体的な年齢の目途はない』64.9%
	③ 経営者を引退した後の生活資金について	『十分だと思う』52.5%、『まだ不十分だと思う』23.2% 『まだ考えていない・引退しない』24.2%
	④ 社長個人の資産管理・運用	「預貯金(円貨)」70.0%、「不動産」19.2% 「何もしていない」18.4%
	⑤ 現役を退いた後の生活イメージ	「家族との時間を過ごす」45.0%、「趣味や娯楽」43.1% 「その時に考える(今は考えていない)」22.0%

### 問1. 10年後の自社の経営展望と社長の年齢階層

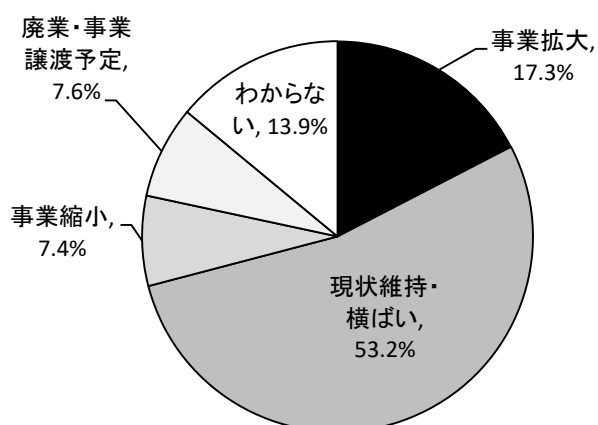
区内の中小企業を対象に、今後10年先の自社の経営についての展望と、現在の代表者の年齢階層についてうかがった。

まず、10年先の自社の経営展望については、回答割合が高い順に「現状維持・横ばい」(53.2%)、「事業拡大」(17.3%)、「廃棄・事業譲渡予定」(7.6%)、「事業縮小」(7.4%)であった。また、「わからない」が13.9%あった。代表者の年齢階層については、「60歳代」と「70歳代以上」を合わせた『60歳代以上』(64.0%)が6割台半ばを占め、『40歳代以下』(14.7%)は1割台半ばに過ぎなかった。

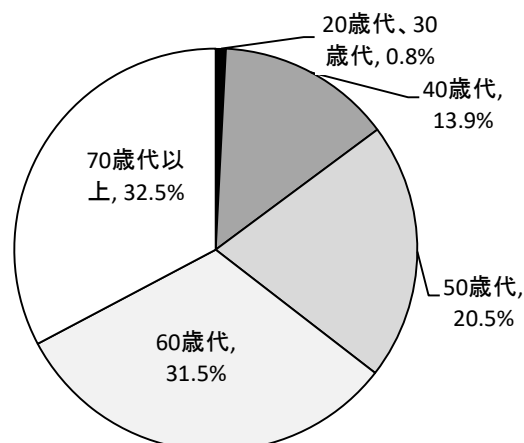
業種別に見ると、「事業拡大」は「建設業」(23.8%)が最も高く、「廃棄・事業譲渡予定」は「小売業」(15.6%)が最も高い割合であった。また、代表者の年齢階層については、「60歳代」と「70歳代以上」を合わせた『60歳代以上』は「小売業」(79.2%)が約8割を占め、最も高い割合であった。

従業員規模別に見ると、特に特徴的な傾向は見られなかった。

< 10年後の自社の経営展望 >



< 社長の年齢階層 >



## 問2. 経営者としていつまで現役を続けるか

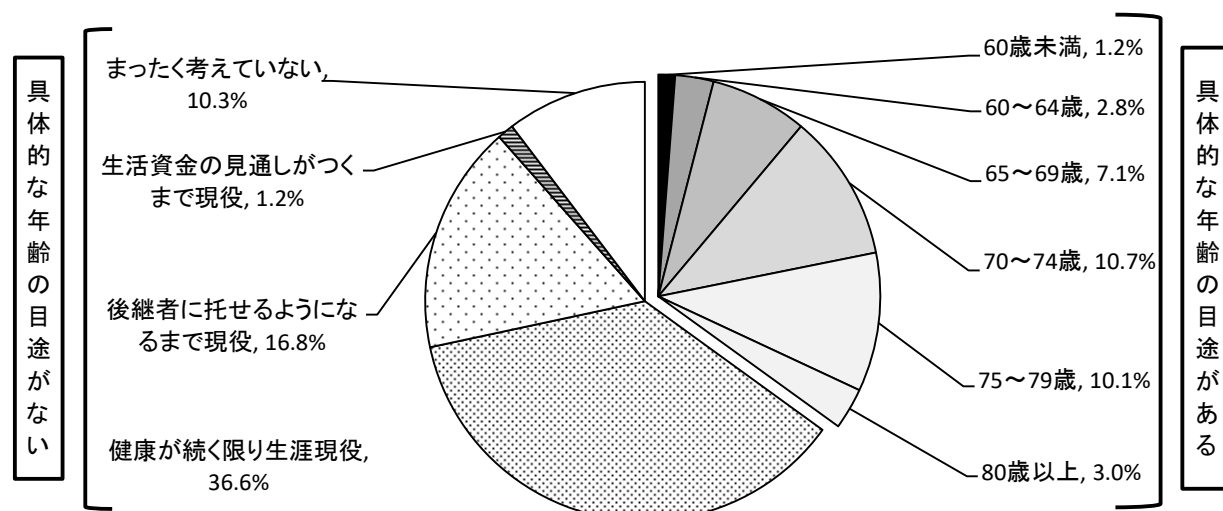
「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、代表者が経営者としていつ頃まで現役を続けたいと考えているかについてうかがった。まず、『具体的な年齢の目途がある』との回答は34.9%あり、その内訳は「70～74歳」(10.7%)、「75～79歳」(10.1%)、「65～69歳」(7.1%)で大半(『具体的な年齢の目途がある』との回答の8割)を占め、『64歳以下』はわずか4.0%であった。

『具体的な年齢の目途はない』との回答は64.9%であり、その内訳は「健康が続く限り生涯現役」(36.6%)、「後継者に托せるようになるまでは現役」(16.8%)が大半を占めた。また、「まったく考えていない」は10.3%であった。

業種的に見ると、『具体的な年齢の目途がある』との回答は“建設業”(36.5%)が最も高い割合で、逆に、『具体的な年齢の目途はない』との回答は“小売業”(67.4%)が最も高い割合であった。また、「まったく考えていない」は“サービス業”(16.4%)最も高い割合であった。

従業員規模別に見ると、『具体的な年齢の目途がある』との回答割合は、従業員規模が大きくなるほど高くなる傾向が見られた。

### < 経営者としていつまで現役を続けるか >



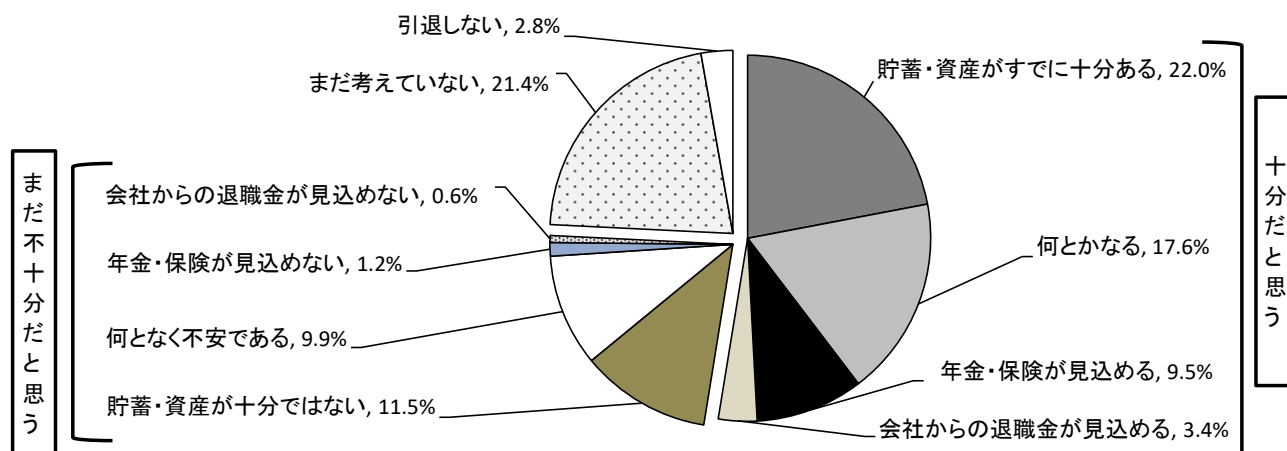
## 問3. 経営者を引退した後の生活資金について

経営者を引退した後の生活資金についてどのように考えているかについてうかがったところ、『十分だと思う』との回答は52.5%であり、その内「貯蓄・資産がすでに十分ある」(22.0%)が最も多く、「何とかなる」は17.6%であった。『まだ不十分だと思う』との回答は23.2%であり、その内「貯蓄・資産が十分ではない」(11.5%)と「何となく不安である」(9.9%)で大半を占めた。その他の回答は、「まだ考えていない」(21.4%)、「引退しない」(2.8%)であった。

業種別に見ると、『十分だと思う』との回答は“サービス業”が56.1%で最も高い割合であった。一方、『まだ不十分だと思う』との回答は“製造業”が24.6%で最も高い割合であった。また、「まだ考えていない」も“製造業”が24.6%で最も高い割合であった。

従業員規模別に見ると、「貯蓄・資産がすでに十分ある」は従業員規模が大きくなるほど回答割合が高い傾向が見られた。

< 経営者を引退した後の生活資金について >



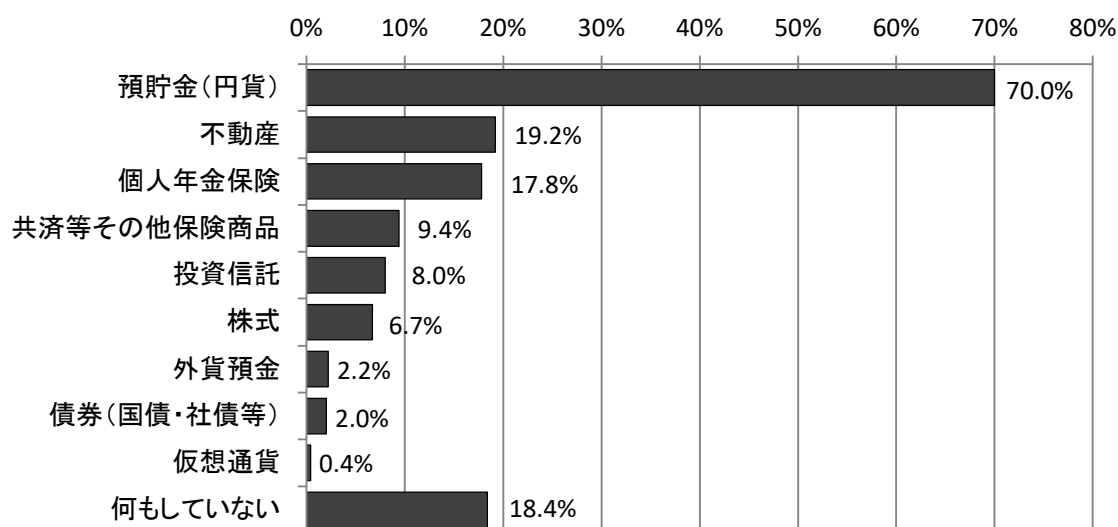
問4. 社長個人の資産管理・運用

代表者が個人としてどのような資産管理・運営をしているかについて最大3項目までうかがったところ、「預貯金(円貨)」が70.0%で最も高い割合であった。以下、「不動産」(19.2%)、「個人年金保険」(17.8%)、「共済等その他保険商品」(9.4%)、「投資信託」(8.0%)と続いた。また、「何もしていない」が18.4%であった。

業種別に見ると、「預貯金(円貨)」は「建設業」(77.4%)が最も高く、次いで、「小売業」(74.5%)であった。「不動産」は「小売業」(22.3%)が最も高く、「個人年金保険」は「製造業」(20.8%)が最も高い割合であった。また、「何もしていない」は「サービス業」(22.2%)が最も高い割合であった。

従業員規模別に見ると、特に特徴的な傾向は見られなかった。

< 社長個人の資産管理・運用 >



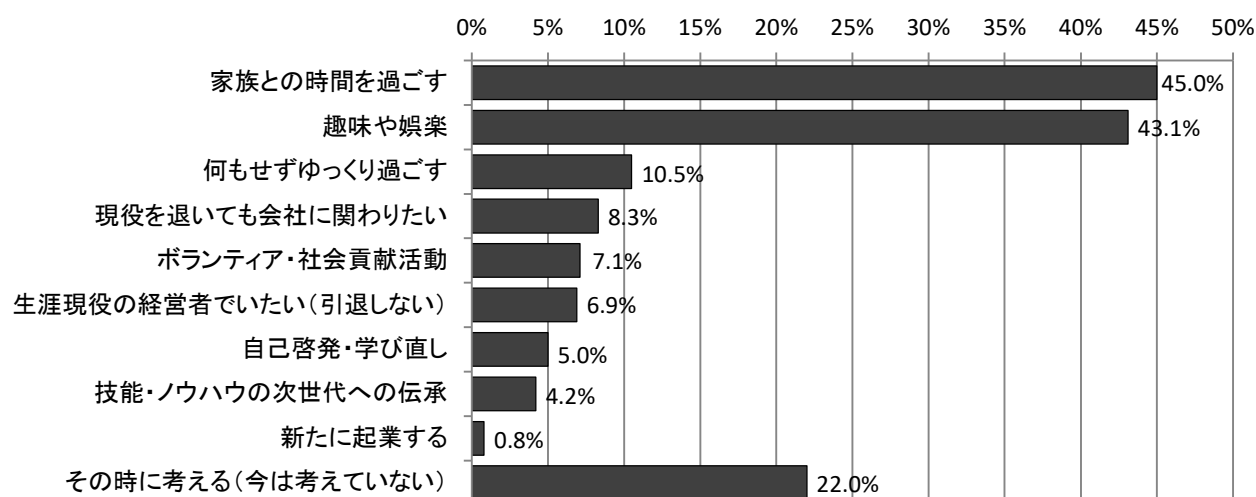
## 問5. 現役を退いた後の生活イメージ

代表者の抱く、現役を退いた後の生活イメージについて最大3項目までうかがったところ、「家族との時間を過ごす」が45.0%で最も高い割合であった。以下、「趣味や娯楽」(43.1%)、「何もせずゆっくり過ごす」(10.5%)、「現役を退いても会社に関わりたい」(8.3%)、「ボランティア・社会貢献活動」(7.1%)と続いた。また、「その時に考える(今は考えていない)」が22.0%であった。

業種別に見ると、「家族との時間を過ごす」は“小売業”(51.6%)が最も高く、“サービス業”(39.7%)が最も低い割合であった。「趣味や娯楽」は“製造業”(45.6%)が最も高く、“サービス業”(35.6%)が最も低い割合であった。また、「その時に考える(今は考えていない)」は“製造業”(24.5%)が最も高く、“サービス業”(20.5%)が最も低い割合であった。

従業員規模別に見ると、特に特徴的な傾向は見られなかった。

< 現役を退いた後の生活イメージ >





		問1 10年後の自社の経営展望と社長の年齢階層										問2 経営者としていつまで現役を続けるか												
		10年後の自社の経営展望					社長(代表者)の年齢階層					具体的な年齢の目的がある					具体的な年齢の目的はない							
回答数		事業拡大	現状維持・横ばい	事業縮小	廃業・事業譲渡予定	わからない	20歳代、30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	60歳未満	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳以上	役職が健康に現役を続ける限り生涯現役	健康なままに現役を続けるように	後継者に託せるように	くまで現役	生活資金の見通しが	まったく考えていない	
全業種	製造業	498	17.3	53.2	7.4	7.6	13.9	0.8	13.9	20.5	31.5	32.5	494	1.2	2.8	7.1	10.7	10.1	3.0	36.6	16.8	1.2	10.3	
	204	18.1	51.5	10.3	6.9	12.3	-	14.2	25.5	27.9	31.9	203	-	2.0	8.4	9.4	9.9	3.4	38.4	18.2	2.0	8.4		
	従業者規模	1人~4人	109	11.0	47.7	14.7	11.0	15.6	-	10.1	23.9	33.9	31.2	108	-	1.9	7.4	7.4	9.3	1.9	44.4	14.8	1.9	11.1
		5人~9人	49	16.3	61.2	6.1	4.1	10.2	-	16.3	24.5	22.4	36.7	49	-	2.0	6.1	12.2	12.2	2.0	32.7	26.5	2.0	4.1
		10人~19人	28	39.3	42.9	7.1	-	7.1	-	28.6	28.6	14.3	28.6	28	-	3.6	10.7	7.1	7.1	14.3	28.6	17.9	3.6	7.1
		20人~29人	7	42.9	42.9	-	-	14.3	-	-	14.3	42.9	42.9	7	-	-	-	14.3	14.3	-	42.9	28.6	-	-
		30人~39人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
		40人~49人	2	-	100.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
		50人~99人	7	42.9	57.1	-	-	-	-	14.3	28.6	28.6	28.6	7	-	-	14.3	-	-	-	42.9	14.3	-	14.3
		100人~199人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
		200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		形態・立地	間屋・商社	21	23.8	23.8	23.8	9.5	14.3	-	-	33.3	33.3	33.3	21	-	-	9.5	9.5	4.8	-	52.4	14.3	4.8
	大メーカー		24	37.5	45.8	-	4.2	12.5	-	25.0	16.7	25.0	33.3	24	-	-	4.2	25.0	20.8	8.3	20.8	12.5	-	8.3
	中小メーカー・仲間業者		121	16.5	54.5	9.1	6.6	12.4	-	16.5	27.3	29.8	26.4	120	-	2.5	9.2	8.3	6.7	3.3	40.0	22.5	0.8	6.7
	小売業者		19	5.3	78.9	10.5	-	5.3	-	5.3	31.6	21.1	36.8	19	-	5.3	-	-	15.8	5.3	36.8	15.8	-	21.1
	業況	最終需要家	18	11.1	38.9	16.7	16.7	16.7	-	5.6	11.1	22.2	61.1	18	-	-	16.7	5.6	16.7	-	38.9	5.6	5.6	11.1
		良い	25	32.0	44.0	12.0	4.0	8.0	-	20.0	24.0	32.0	24.0	24	-	4.2	12.5	29.2	8.3	8.3	20.8	16.7	-	-
		普通	130	16.2	56.2	9.2	6.2	11.5	-	14.6	23.8	28.5	32.3	130	-	2.3	6.9	6.2	9.2	3.8	41.5	17.7	2.3	10.0
	悪い	49	16.3	42.9	12.2	10.2	16.3	-	10.2	30.6	24.5	34.7	49	-	-	10.2	8.2	12.2	-	38.8	20.4	2.0	8.2	
	小売業	96	6.3	52.1	8.3	15.6	16.7	-	9.4	10.4	32.3	46.9	95	-	2.1	1.1	14.7	11.6	3.2	46.3	6.3	1.1	13.7	
1人~4人		79	3.8	51.9	8.9	19.0	15.2	-	7.6	12.7	31.6	48.1	79	-	1.3	1.3	15.2	12.7	3.8	50.6	2.5	1.3	11.4	
5人~9人		8	25.0	37.5	-	-	37.5	-	25.0	-	12.5	50.0	7	-	-	-	14.3	-	-	14.3	28.6	-	42.9	
10人~19人		5	20.0	60.0	-	-	20.0	-	20.0	-	60.0	20.0	5	-	20.0	-	-	-	-	40.0	20.0	-	20.0	
20人~29人		3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	66.7	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	
30人~39人		1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
40人~49人		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
50人~99人		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
100人~199人		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
200人~300人		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地		駅周辺商店街	13	-	46.2	23.1	7.7	23.1	-	-	-	46.2	53.8	13	-	-	-	-	7.7	-	46.2	23.1	-	23.1
		住宅地隣接商店街	51	3.9	52.9	7.8	15.7	17.6	-	7.8	11.8	33.3	45.1	51	-	-	-	13.7	13.7	2.0	52.9	3.9	2.0	11.8
		団地内商店街	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	50.0	4	-	-	-	25.0	-	-	75.0	-	-	-
		その他	25	16.0	60.0	-	8.0	16.0	-	16.0	16.0	20.0	48.0	24	-	8.3	4.2	16.7	8.3	8.3	33.3	4.2	-	16.7
業況		良い	9	33.3	44.4	-	11.1	11.1	-	33.3	-	44.4	22.2	9	-	11.1	-	33.3	11.1	-	33.3	11.1	-	-
		普通	57	3.5	52.6	10.5	12.3	19.3	-	8.8	12.3	36.8	40.4	56	-	-	1.8	17.9	10.7	3.6	41.1	5.4	-	19.6
		悪い	30	3.3	53.3	6.7	23.3	13.3	-	3.3	10.0	20.0	66.7	30	-	3.3	-	3.3	13.3	3.3	60.0	6.7	3.3	6.7
サービス業	73	17.8	52.1	4.1	8.2	17.8	2.7	17.8	21.9	28.8	26.0	73	4.1	5.5	2.7	11.0	8.2	2.7	37.0	11.0	1.4	16.4		
従業者規模	1人~4人	47	8.5	57.4	2.1	12.8	19.1	2.1	19.1	21.3	29.8	25.5	47	6.4	-	4.3	8.5	4.3	4.3	44.7	6.4	2.1	19.1	
	5人~9人	10	-	60.0	20.0	-	20.0	-	10.0	20.0	30.0	30.0	10	-	10.0	-	20.0	20.0	-	30.0	10.0	-	10.0	
	10人~19人	5	20.0	40.0	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	5	-	-	-	-	-	-	40.0	40.0	-	20.0	
	20人~29人	4	75.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0	4	-	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	
	30人~39人	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
	40人~49人	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3	3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	
	50人~99人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	
	100人~199人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	形態・立地	官公庁	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	2	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-
大企業		12	50.0	41.7	8.3	-	-	-	8.3	16.7	33.3	41.7	12	-	-	33.3	-	8.3	-	8.3	41.7	-	8.3	
中小企業		34	20.6	58.8	-	2.9	17.6	2.9	17.6	17.6	38.2	23.5	34	-	2.9	8.8	11.8	2.9	-	23.5	38.2	-	11.8	
個人		13	15.4	61.5	15.4	-	7.7	-	-	30.8	38.5	30.8	13	-	-	23.1	-	30.8	7.7	30.8	7.7	-	-	
業況	良い	13	46.2	30.8	-	7.7	15.4	-	7.7	15.4	46.2	30.8	13	-	7.7	30.8	-	7.7	-	23.1	23.1	-	7.7	
	普通	40	20.0	62.5	5.0	-	12.5	2.5	12.5	25.0	32.5	27.5	40	-	-	10.0	10.0	10.0	2.5	25.0	32.5	-	10.0	
	悪い	10	10.0	70.0	10.0	-	10.0	-	20.0	10.0	30.0	40.0	10	10.0	-	20.0	-	10.0	-	10.0	50.0	-	-	



		問5 現役を退いた後の生活イメージ											
		回 答 数	家 族 と の 時 間 を 過 ご す	趣 味 や 娯 楽	何 も せ ず ゆ つ く り 過 ご す	現 役 を 退 い て も 会 社 に 関 わ り た い	活 動 ボ ラ ン テ ィ ア ・ 社 会 貢 献	生 涯 現 役 の 経 営 者 で い た ( 引 退 し な い )	自 己 啓 発 ・ 学 び 直 し	技 能 ・ ノ ウ ハ ウ の 次 世 代 へ の 伝 承	新 た に 起 業 す る	そ の 時 に 考 え る ( 今 は 考 え て い な い )	
全 業 種	業	496	45.0	43.1	10.5	8.3	7.1	6.9	5.0	4.2	0.8	22.0	
	製												
	造	204	42.6	45.6	7.8	8.8	5.9	5.4	4.9	5.4	0.5	24.5	
	従 業 者 規 模	1人～4人	109	42.2	47.7	10.1	3.7	3.7	6.4	3.7	2.8	0.9	26.6
		5人～9人	49	36.7	40.8	4.1	12.2	6.1	2.0	8.2	12.2	-	26.5
		10人～19人	28	50.0	39.3	3.6	21.4	14.3	7.1	3.6	3.6	-	17.9
		20人～29人	7	57.1	28.6	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-
		30人～39人	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
		40人～49人	2	50.0	100.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
		50人～99人	7	42.9	57.1	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	28.6
		100人～199人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形 態 ・ 立 地	問屋・商社	21	47.6	52.4	14.3	-	4.8	14.3	-	-	-	23.8
		大メーカー	24	29.2	54.2	4.2	16.7	4.2	12.5	12.5	12.5	-	20.8
中小メーカー・仲間業者		121	46.3	46.3	5.0	8.3	6.6	4.1	4.1	4.1	-	23.1	
小売業者		19	26.3	21.1	5.3	21.1	-	-	-	10.5	-	36.8	
業 況	最終需要家	18	44.4	44.4	27.8	-	5.6	-	11.1	5.6	5.6	27.8	
	良 い	25	28.0	44.0	-	20.0	4.0	-	8.0	16.0	-	20.0	
	普 通	130	46.9	46.2	10.0	6.9	7.7	5.4	3.8	3.8	0.8	18.5	
悪 い	49	38.8	44.9	6.1	8.2	2.0	8.2	6.1	4.1	-	42.9		
小 売 業	業	95	51.6	38.9	12.6	5.3	4.2	4.2	5.3	2.1	-	22.1	
	従 業 者 規 模	1人～4人	78	50.0	41.0	15.4	5.1	5.1	3.8	5.1	1.3	-	23.1
		5人～9人	8	50.0	37.5	-	-	-	12.5	12.5	12.5	-	12.5
		10人～19人	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0
		20人～29人	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3
		30人～39人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形 態 ・ 立 地	駅周辺商店街	13	38.5	38.5	23.1	7.7	7.7	-	7.7	-	-	30.8
		住宅地隣接商店街	50	52.0	40.0	12.0	2.0	4.0	6.0	6.0	2.0	-	16.0
		団地内商店街	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0
		その他	25	60.0	44.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	-	24.0
業 況	良 い	9	44.4	33.3	-	22.2	-	-	11.1	22.2	-	22.2	
	普 通	56	48.2	41.1	10.7	3.6	7.1	3.6	5.4	-	-	23.2	
	悪 い	30	60.0	36.7	20.0	3.3	-	6.7	3.3	-	-	20.0	
サ ー ビ ス 業	業	73	39.7	35.6	13.7	5.5	8.2	8.2	2.7	2.7	2.7	20.5	
	従 業 者 規 模	1人～4人	47	40.4	38.3	8.5	2.1	2.1	8.5	2.1	2.1	2.1	23.4
		5人～9人	10	10.0	30.0	40.0	-	10.0	10.0	-	-	-	20.0
		10人～19人	5	80.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0
		20人～29人	4	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-
		30人～39人	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
		40人～49人	3	100.0	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
		50人～99人	2	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-
		100人～199人	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業 況	良 い	10	50.0	20.0	10.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	10.0
		普 通	45	37.8	40.0	13.3	4.4	8.9	2.2	4.4	4.4	-	20.0
		悪 い	18	38.9	33.3	16.7	-	11.1	16.7	-	-	-	27.8
	建 設 業	業	63	46.0	41.3	7.9	14.3	7.9	6.3	7.9	7.9	1.6	22.2
従 業 者 規 模		1人～4人	25	64.0	28.0	12.0	4.0	-	8.0	4.0	-	-	20.0
		5人～9人	18	27.8	44.4	11.1	27.8	11.1	11.1	5.6	11.1	-	11.1
		10人～19人	9	55.6	55.6	-	11.1	11.1	-	22.2	22.2	-	33.3
		20人～29人	5	20.0	40.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-	40.0
		30人～39人	2	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0
		40人～49人	2	50.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
		50人～99人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
		100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200人～300人		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形 態 ・ 立 地		官公庁	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
		大企業	12	33.3	66.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	-	16.7
		中小企業	34	50.0	41.2	5.9	11.8	5.9	5.9	8.8	8.8	2.9	26.5
		個人	13	53.8	23.1	7.7	15.4	-	-	7.7	-	-	15.4
業 況	良 い	13	30.8	38.5	-	23.1	7.7	7.7	-	7.7	7.7	38.5	
	普 通	40	52.5	42.5	10.0	5.0	5.0	7.5	10.0	7.5	-	20.0	
	悪 い	10	40.0	40.0	10.0	40.0	20.0	-	10.0	10.0	-	10.0	

# 東京都全体の中小企業の景況（平成30年7月～9月期）

業況小幅改善へ 不動産業に再び好調感。 ～ サービス業は水面下で改善 ～

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-3.4（前期は-4.4）と前期に比べ1.0ポイント回復した。業種別に見ると、サービス業で水面下ながらわずかに改善し、不動産業で再び好調感が強まった。

来期は、製造業で水面に近づき明るさが見えると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-3.6	-2.8	0.8	-0.8	2.0
卸売業	-5.5	-4.2	1.3	-2.7	1.5
小売業	-19.7	-19.6	0.1	-18.6	1.0
サービス業	-5.9	-3.7	2.2	-3.3	0.4
建設業	15.1	15.0	-0.1	14.8	-0.2
不動産業	8.0	11.3	3.3	8.7	-2.6
総合	-4.4	-3.4	1.0	-2.5	0.9

※前期（平成30年4～6月） 来期（平成30年10～12月）

## <製造業>

業況は前期より改善が見られるも大きな変化はなかった。売上額・受注残・収益は前期同様で推移した。価格面では、販売価格は上向きで推移し、原材料価格はやや上昇幅が拡大した。資金繰りは前期同様の厳しさが続き、在庫は適正範囲が保たれた。

経営上の問題点では「売上の停滞・減少」（35%）、「同業者間の競争の激化」（28%）、「利幅の縮小」「人手不足」（いずれも17%）の順となっている。重点経営施策では「販路を広げる」（57%）、「経費を節減する」（41%）、「人材を確保する」（18%）の順であった。

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上額は好転し、受注残は今期同様の水準で推移し、収益は水面下ながら持ち直すと予想している。価格面では、販売価格はほぼ横ばいで推移し、原材料価格は落ち着きを見せると予想している。

## <小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上・収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期並の苦しさで、借入難易度は前期同様の厳しさが推移した。

経営上の問題点は、第1位は「売上の停滞・減少」（40%）、第2位は同率で「同業者間の競争の激化」「大型店との競争の激化」（28%）であった。重点経営施策は上位の順に変動なく、第1位が「経費を節減する」（38%）、以下「品揃えを改善する」（33%）、「宣伝・広告を強化する」（22%）、「売れ筋商品を取り扱う」（21%）の順となっている。

来期の業況は今期同様の厳しさが続く予想している。売上額・収益は今期並の減少が続くとみている。価格面では、販売価格はほぼ横ばいで推移し、仕入価格は今期同様の上昇が続くと予想している。

## <サービス業>

業況は前期同様に水面下ながら改善した。売上は減少幅が縮小し、収益の減少も縮小傾向で推移した。価格面では、料金価格はわずかに上昇に転じ、材料価格は前期同様の上昇が続いている。資金繰りは前期並の厳しさが続いた。

経営上の問題点を見ると、上位の順位に変動はなく、第1位は「同業者間の競争の激化」（39%）、次いで「売上の停滞・減少」（30%）、「人手不足」（25%）の順となっている。重点経営施策は、第1位が「販路を広げる」（40%）、次いで「経費を節減する」（38%）、「人材を確保する」（24%）となっている。

来期の業況は今期同様の景況感で推移すると予想している。売上額は増減なくとの予想だが、収益は減少幅が縮小すると予想している。価格面では、料金価格は今期並の上昇推移を予想し、材料価格は今期並の上昇が続くとみている。

## <建設業>

業況は良好感が続き、売上額・受注残・施工高はいずれも前期同様の増加が続いた。収益は、やや増加傾向を強めた。価格面では、請負価格は前期水準と同様の上昇が続き、材料価格はさらに上昇圧力が高まっている。資金繰りは前期同様変わらず、人手は前期並の大幅な不足感が続いた。借入難易度は幾分高まった。

経営上の問題点を見ると、第1位が「人手不足」（36%）、次いで「同業者間の競争の激化」（32%）、「売上の停滞・減少」（23%）の順となっている。重点経営施策は、第1位が「人材を確保する」（41%）、次いで「販路を広げる」「経費を節減する」（いずれも40%）、「技術力を高める」（24%）の順となっている。

来期の業況も今期並の好調感が続く予想している。売上額・施工高は今期並の増勢が続くものの、受注残・収益は増加幅がやや縮小するとみている。価格面では、請負価格は今期並の上昇が続くと予想し、材料価格の上昇度合はやや弱まると予想している。

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

# 江戸川区と東京都全体の比較表

(平成30年7月～9月期)

## 製造業

### 【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-12	-3	-3	-2	-5	9	-21	-3	-26	-21	-26	-23	-12	-9	-19	-9	1	3
売上額	-11	-1	-1	-3	-8	10	-14	1	-29	-17	-29	-18	-18	-7	-18	-8	-4	6
受注残	-12	0	-4	-1	-2	10	-20	1	-21	-14	-21	-15	-6	-5	-25	-8	-7	8
収益	-17	-3	-15	-10	-18	7	-19	-1	-27	-14	-27	-16	-14	-11	-23	-14	3	8
販売価格	-1	1	1	4	3	2	-10	3	9	-4	9	-5	-4	-2	-9	2	5	-1
原材料価格	23	20	27	24	26	18	29	21	23	15	23	14	14	21	17	21	21	19
原材料在庫	-4	2	2	2	-3	2	-2	2	1	1	1	1	7	4	1	4	-2	2
資金繰り	-8	-7	1	-10	-4	-1	-15	-4	-20	-19	-20	-19	-4	-8	-10	-11	5	-5
雇用																		
残業時間	-3	1	7	0	2	5	-7	3	-22	-7	-22	-7	-6	-2	0	1	-6	8
人手	-9	-13	-7	-13	-9	-17	-4	-13	-4	-5	-4	-4	-24	-13	-8	-9	-12	-12
同期比																		
売上額	-8	2	-7	0	6	14	-11	5	-35	-18	-35	-19	-24	-9	-8	-7	6	8
収益	-15	-1	-7	-5	-6	10	-18	3	-35	-15	-35	-15	-31	-16	-15	-9	-6	10
経営上の問題点																		
① 売上の停滞・減少	36	35	40	35	23	28	36	32	48	48	48	47	53	50	46	39	29	29
② 同業者間の競争の激化	23	28	20	29	23	26	32	27	30	37	30	36	-	20	8	27	35	30
③ 利幅の縮小	20	17	27	14	19	17	7	17	17	20	17	20	18	14	15	8	24	16
④ 原材料高	16	14	20	25	15	14	18	12	9	9	9	9	18	13	8	19	18	18
⑤ 人手不足	16	17	13	14	23	22	14	19	9	11	9	11	24	13	15	13	18	17
重点経営施策																		
① 販路を広げる	52	57	60	67	49	55	50	51	65	63	65	63	29	58	69	59	41	54
② 経費を節減する	43	41	33	43	36	35	36	40	57	49	57	49	47	32	31	41	53	44
③ 人材を確保する	15	18	7	14	23	24	7	18	9	10	9	10	24	15	15	14	12	13
④ 情報力を強化する	13	15	7	14	19	15	11	13	17	17	17	15	6	13	8	14	6	12
⑤ 新製品・技術を開発する	11	13	7	16	13	15	4	7	9	10	9	10	6	7	23	6	12	4
借入の難易度	2	1	-8	1	13	6	-4	2	-10	-6	-10	-6	-7	0	-31	-6	15	6

### 【来期見通しの比較】

業況	-9	-1	10	3	2	10	-18	1	-26	-19	-26	-20	-4	-14	-21	-10	-2	4
売上額	-10	1	-7	5	1	9	-11	1	-26	-16	-26	-16	-20	-10	-8	1	-7	11
受注残	-11	1	1	4	0	7	-21	2	-19	-11	-19	-12	-6	-5	-20	-4	-8	8
収益	-13	-1	-8	-4	-4	7	-16	0	-34	-12	-34	-12	-23	-13	-13	-6	-2	10
販売価格	-1	1	1	3	1	3	-8	3	1	-4	1	-4	-6	-4	-7	3	4	0
原材料価格	16	17	15	24	15	16	20	17	13	13	13	13	6	19	15	20	17	18
原材料在庫	-3	0	-7	-4	-2	1	2	2	0	0	0	-1	5	2	-1	1	-4	1
資金繰り	-6	-8	4	-11	-4	-1	-10	-4	-13	-17	-13	-16	-6	-12	-5	-9	6	-4
雇用																		
残業時間	0	2	0	4	13	5	-4	3	-17	-4	-17	-4	6	1	0	0	-6	3
人手	-12	-14	-7	-15	-17	-19	-7	-13	-9	-6	-9	-6	-24	-10	-8	-8	-12	-14

\* 季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 小売業

## 【今期実績の比較】

	全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品		
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	
業況	-23	-20	1	-13	-36	-22	-14	-27	
売上額	-10	-14	11	-6	-17	-16	-23	-23	
収益	-11	-15	19	-9	-24	-17	-12	-20	
販売価格	5	2	1	-1	5	4	-12	-3	
仕入価格	10	12	1	1	12	17	-7	1	
在庫	-3	4	1	0	-9	1	-8	13	
資金繰り	-15	-15	-24	-13	-19	-16	-12	-19	
雇用	残業時間	-2	0	0	1	-6	1	0	0
	人手	-6	-9	-8	-9	-12	-10	0	-2
同期比	売上額	-13	-13	8	-4	-20	-16	-21	-24
	収益	-17	-14	8	-6	-23	-17	-21	-21
	販売価格	7	3	0	0	17	7	0	-5
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	43	40	17	34	43	40	43	45
	② 大型店との競争の激化	31	28	50	36	20	32	57	29
	③ 同業者間の競争の激化	27	28	8	25	26	26	57	31
	④ 商圏人口の減少	11	8	-	6	17	9	7	8
	⑤ 商店街の集客力の低下	10	16	25	15	9	15	-	18
重点経営 施策	① 品揃えを改善する	32	33	17	29	26	34	50	44
	② 経費を節減する	31	38	25	34	26	37	21	32
	③ 宣伝・広告を強化する	25	22	50	21	26	20	36	25
	④ 売れ筋商品を取り扱う	20	21	17	21	17	23	43	28
	⑤ 商店街事業を活性化させる	18	17	17	18	23	16	14	19
借入の難易度	-12	-7	9	4	-19	-6	-27	-13	

## 【来期見通しの比較】

業況	-23	-19	1	-15	-33	-20	-19	-22	
売上額	-13	-13	-2	-13	-15	-14	-25	-16	
収益	-12	-14	1	-14	-18	-16	-16	-16	
販売価格	3	2	1	-2	-1	4	-12	-2	
仕入価格	6	11	1	1	3	13	-7	5	
在庫	-5	2	3	0	-14	0	-7	9	
資金繰り	-14	-14	-25	-16	-13	-14	-14	-18	
雇用	残業時間	-2	0	0	-1	0	1	0	2
	人手	-7	-9	-8	-6	-12	-10	0	-2

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-15	-4
売上額		-6	-2
収益		-15	-5
料金価格		-5	2
材料価格		16	12
資金繰り		-12	-5
雇用	残業時間	-4	1
	人手	-20	-22
同期比	売上額	-8	1
	収益	-13	-3
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	39	39
	② 売上の停滞・減少	25	30
	③ 人手不足	23	25
	④ 材料価格の上昇	13	6
	⑤ 大企業との競争の激化	12	8
重点経営施策	① 経費を節減する	36	38
	② 販路を広げる	28	40
	③ 宣伝・広告を強化する	23	21
	④ 人材を確保する	19	24
	⑤ 技術力を強化する	12	13
借入の難易度		-2	0

## 建設業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		8	15
売上額		16	17
受注残		10	18
施工高		8	15
収益		6	11
請負価格		-4	6
材料価格		28	28
在庫		-2	0
資金繰り		-6	1
雇用	残業時間	8	5
	人手	-38	-31
同期比	売上額	9	17
	収益	5	11
経営上の問題点	① 人手不足	34	36
	② 同業者間の競争の激化	25	32
	③ 売上の停滞・減少	22	23
	④ 大手企業との競争の激化	20	12
	⑤ 材料価格の上昇	19	20
重点経営施策	① 人材を確保する	44	41
	② 経費を節減する	33	40
	③ 販路を広げる	31	40
	④ 情報力を強化する	20	19
	⑤ 技術力を高める	17	24
借入の難易度		-6	6

### 【来期見通しの比較】

業況		-11	-3
売上額		-3	-1
収益		-15	-3
料金価格		-1	2
材料価格		15	11
資金繰り		-13	-5
雇用	残業時間	-5	1
	人手	-20	-22

### 【来期見通しの比較】

業況		15	15
売上額		21	16
受注残		14	14
施工高		14	14
収益		7	9
請負価格		2	6
材料価格		20	24
在庫		-4	0
資金繰り		-4	0
雇用	残業時間	6	6
	人手	-34	-32

\* 季節変動調整済〇・△を表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

\* 単純〇・△を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 江戸川区の業種別転記表

(平成30年7月～9月期)

## 製造業

## 転記表 No.1

平成30年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
業 況	良 い	15.5	8.5	14.2	10.4	15.0	10.7	16.0	10.5	14.7	13.5	14.3	10.1	11.7	10.2	12.2	8.4		11.0
	普 通	63.8	71.1	57.5	69.2	58.7	64.5	56.6	66.6	63.0	64.9	65.7	69.6	65.0	71.3	63.9	71.4		71.0
	悪 い	20.7	20.4	28.3	20.4	26.3	24.8	27.4	22.9	22.3	21.6	20.0	20.3	23.3	18.5	23.9	20.2		18.0
	D・I	-5.2	-11.9	-14.1	-10.0	-11.3	-14.1	-11.4	-12.4	-7.6	-8.1	-5.7	-10.2	-11.6	-8.3	-11.7	-11.8		-7.0
	<b>修正値</b>	<b>-6.3</b>	<b>-13.6</b>	<b>-15.3</b>	<b>-8.6</b>	<b>-13.6</b>	<b>-14.9</b>	<b>-11.8</b>	<b>-15.4</b>	<b>-9.7</b>	<b>-10.2</b>	<b>-7.1</b>	<b>-10.3</b>	<b>-12.0</b>	<b>-8.4</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.8</b>	<b>0.4</b>	<b>-8.7</b>
	傾 向 値	-8.4		-8.4		-9.2		-10.1		-10.8		-10.1		-9.0		-9.1			
売 上 額	増 加	13.5	8.3	13.2	9.3	14.5	8.0	16.9	10.3	16.4	11.8	16.7	11.3	14.0	10.0	10.2	8.7		8.3
	変 ら ず	64.2	74.7	62.3	70.8	61.2	72.2	57.7	69.5	64.8	71.7	63.3	70.8	63.8	73.3	66.9	74.4		74.6
	減 少	22.3	17.0	24.5	19.9	24.3	19.8	25.4	20.2	18.8	16.5	20.0	17.9	22.2	16.7	22.9	16.9		17.1
	D・I	-8.8	-8.7	-11.3	-10.6	-9.8	-11.8	-8.5	-9.9	-2.4	-4.7	-3.3	-6.6	-8.2	-6.7	-12.7	-8.2		-8.8
	<b>修正値</b>	<b>-8.5</b>	<b>-11.6</b>	<b>-13.0</b>	<b>-6.9</b>	<b>-11.7</b>	<b>-12.2</b>	<b>-7.8</b>	<b>-12.5</b>	<b>-3.8</b>	<b>-7.2</b>	<b>-5.5</b>	<b>-4.8</b>	<b>-9.0</b>	<b>-7.0</b>	<b>-10.9</b>	<b>-9.6</b>	<b>-1.9</b>	<b>-10.0</b>
	傾 向 値	-6.2		-7.1		-8.3		-9.4		-8.8		-7.0		-5.8		-6.1			
受 注 残	増 加	15.3	8.3	11.4	10.2	12.1	7.6	15.0	8.9	15.5	8.5	15.2	12.3	13.5	8.1	9.3	7.7		7.3
	変 ら ず	66.1	77.0	65.9	72.2	65.0	72.0	62.5	72.3	70.4	75.5	66.7	72.1	67.7	76.7	67.8	75.9		75.1
	減 少	18.6	14.7	22.7	17.6	22.9	20.4	22.5	18.8	14.1	16.0	18.1	15.6	18.8	15.2	22.9	16.4		17.6
	D・I	-3.3	-6.4	-11.3	-7.4	-10.8	-12.8	-7.5	-9.9	1.4	-7.5	-2.9	-3.3	-5.3	-7.1	-13.6	-8.7		-10.3
	<b>修正値</b>	<b>-3.7</b>	<b>-8.8</b>	<b>-13.6</b>	<b>-5.6</b>	<b>-10.6</b>	<b>-13.1</b>	<b>-7.3</b>	<b>-11.1</b>	<b>-1.3</b>	<b>-9.6</b>	<b>-5.0</b>	<b>-4.0</b>	<b>-4.7</b>	<b>-6.8</b>	<b>-12.0</b>	<b>-8.8</b>	<b>-7.3</b>	<b>-11.2</b>
	傾 向 値	-5.0		-5.2		-6.5		-7.9		-7.6		-6.0		-4.3		-4.3			
収 益	増 加	12.6	6.0	9.9	7.4	12.1	7.1	15.0	6.6	16.4	9.9	15.2	10.4	12.1	8.1	6.8	6.8		6.3
	変 ら ず	65.5	74.7	64.6	73.6	63.6	70.6	59.2	70.9	64.8	71.7	62.4	70.7	64.2	72.4	68.3	74.4		75.2
	減 少	21.9	19.3	25.5	19.0	24.3	22.3	25.8	22.5	18.8	18.4	22.4	18.9	23.7	19.5	24.9	18.8		18.5
	D・I	-9.3	-13.3	-15.6	-11.6	-12.2	-15.2	-10.8	-15.9	-2.4	-8.5	-7.2	-8.5	-11.6	-11.4	-18.1	-12.0		-12.2
	<b>修正値</b>	<b>-9.8</b>	<b>-14.8</b>	<b>-15.9</b>	<b>-10.4</b>	<b>-14.8</b>	<b>-14.9</b>	<b>-10.7</b>	<b>-18.1</b>	<b>-5.1</b>	<b>-9.9</b>	<b>-7.4</b>	<b>-8.7</b>	<b>-12.6</b>	<b>-10.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-12.8</b>	<b>-4.2</b>	<b>-13.0</b>
	傾 向 値	-10.2		-10.4		-10.9		-11.7		-11.1		-9.2		-8.1		-8.9			
価 格 動 向	販 売 価 格	-3.2	-8.7	-5.2	-3.7	-2.8	-4.7	-1.4	-2.8	-1.0	-3.3	-1.4	-3.3	-2.4	-3.8	-1.0	-2.4		-2.0
	〃 <b>修正値</b>	<b>-4.2</b>	<b>-9.1</b>	<b>-5.3</b>	<b>-4.9</b>	<b>-4.4</b>	<b>-6.0</b>	<b>-2.2</b>	<b>-4.0</b>	<b>-2.0</b>	<b>-3.2</b>	<b>-1.5</b>	<b>-4.2</b>	<b>-3.5</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.0</b>	<b>-3.0</b>	<b>2.5</b>	<b>-1.3</b>
	〃 傾 向 値	-5.8		-5.1		-4.5		-3.7		-2.9		-2.1		-1.6		-1.5			
	原 材 料 価 格	12.6	6.0	11.8	8.4	18.7	9.9	14.6	14.1	17.9	12.2	20.0	19.8	18.4	14.9	21.9	14.5		14.6
	〃 <b>修正値</b>	<b>11.6</b>	<b>6.5</b>	<b>11.1</b>	<b>8.4</b>	<b>16.9</b>	<b>8.4</b>	<b>15.5</b>	<b>14.1</b>	<b>16.6</b>	<b>11.6</b>	<b>19.4</b>	<b>18.6</b>	<b>17.2</b>	<b>14.3</b>	<b>23.4</b>	<b>15.2</b>	<b>6.2</b>	<b>16.1</b>
	〃 傾 向 値	9.6		10.6		12.3		13.8		15.1		16.8		17.8		18.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	0.0	-0.4	0.9	-1.0	2.3	0.0	2.8	1.8	-0.9	1.9	1.4	-1.5	0.4	-0.5	-3.9	-0.5		-3.4
	〃 <b>修正値</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>1.5</b>	<b>-1.6</b>	<b>2.0</b>	<b>0.4</b>	<b>2.2</b>	<b>0.9</b>	<b>-0.9</b>	<b>1.6</b>	<b>1.6</b>	<b>-1.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>-0.4</b>	<b>-3.5</b>	<b>-1.7</b>	<b>-3.4</b>	<b>-2.6</b>
	資 金 繰 り	-10.2	-8.7	-11.8	-8.8	-6.5	-10.5	-4.7	-8.0	-9.4	-7.1	-10.5	-8.0	-5.3	-10.0	-6.4	-2.5		-4.0
〃 <b>修正値</b>	<b>-10.5</b>	<b>-10.5</b>	<b>-12.3</b>	<b>-7.7</b>	<b>-9.7</b>	<b>-11.8</b>	<b>-6.3</b>	<b>-10.2</b>	<b>-9.1</b>	<b>-8.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>-7.3</b>	<b>-8.2</b>	<b>-10.5</b>	<b>-7.8</b>	<b>-5.6</b>	<b>0.4</b>	<b>-6.0</b>	
前 年 同 期 比	売 上 額	-7.0		-14.1		-8.4		-6.6		-1.9		1.9		0.0		-8.3			
	収 益	-8.3		-15.1		-12.3		-12.2		-8.4		-2.9		-5.8		-15.2			
雇 用	残 業 時 間	-3.7	-3.7	-1.9	-3.8	-2.9	-3.3	-6.6	-0.4	-2.3	-2.9	-1.5	-4.7	-1.5	-1.9	-2.9	-2.5		0.0
	人 手	-10.6	-9.8	-13.2	-9.8	-10.8	-12.8	-12.8	-11.9	-11.8	-13.8	-13.9	-10.4	-13.2	-13.9	-9.3	-12.6		-11.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	22.9	17.8	20.7	16.5	23.0	15.8	23.2	14.7	20.9	16.4	19.6	14.8	18.8	14.1	21.2	12.6		12.4
	借入しない/借入の予定なし(%)	77.1	82.2	79.3	83.5	77.0	84.2	76.8	85.3	79.1	83.6	80.4	85.2	81.2	85.9	78.8	87.4		87.6
	<b>借入難易度</b>	<b>-5.4</b>		<b>-3.4</b>		<b>-3.3</b>		<b>-1.1</b>		<b>0.0</b>		<b>-1.6</b>		<b>-3.8</b>		<b>1.7</b>			
有効回答事業所数		218		213		214		214		214		210		207		205			



# 製造業

# 転記表 No.2

平成30年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	28年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期	
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.1	-6.5	-8.6	-4.2	-8.0	-6.3	-6.2	-7.6	-6.6	-5.3	-5.8	-5.3	-3.9	-4.8	-6.4	-2.4	-3.9
	実施した・予定あり	14.1	10.5	13.1	13.5	15.8	13.4	18.3	14.9	15.0	14.4	20.4	15.2	18.8	17.5	17.0	12.8	15.8
	事業用土地・建物	-	9.1	3.7	3.6	6.1	3.7	7.9	10.0	3.2	13.8	14.3	6.5	7.9	17.1	11.8	20.0	9.7
	機械・設備の新・増設	50.0	50.0	48.1	42.9	36.4	44.4	39.5	43.3	29.0	48.3	42.9	45.2	21.1	40.0	41.2	32.0	41.9
	機械・設備の更改	46.7	36.4	44.4	39.3	33.3	33.3	36.8	26.7	25.8	34.5	38.1	32.3	42.1	37.1	41.2	36.0	45.2
	事務機器	23.3	22.7	22.2	21.4	21.2	25.9	18.4	16.7	38.7	10.3	14.3	12.9	31.6	11.4	17.6	32.0	9.7
	車両	13.3	9.1	7.4	10.7	24.2	18.5	23.7	16.7	32.3	6.9	19.0	22.6	26.3	17.1	23.5	28.0	22.6
	その他	-	-	3.7	-	9.1	-	-	10.0	-	-	-	-	5.3	-	-	4.0	-
	実施しない・予定なし	85.9	89.5	86.9	86.5	84.2	86.6	81.7	85.1	85.0	85.6	79.6	84.8	81.2	82.5	83.0	87.2	84.2
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	38.5		39.9		42.5		34.1		34.1		34.3		36.7		35.6	
人手不足		14.2		12.2		13.1		12.1		11.2		15.2		15.5		16.1		
大手企業との競争の激化		9.6		11.7		9.8		7.9		9.3		8.1		8.7		7.8		
同業者間の競争の激化		27.5		27.2		24.8		22.9		26.2		21.0		23.7		22.9		
親企業による選別の強化		1.4		3.3		0.9		2.3		0.9		1.9		1.4		2.4		
輸入製品との競争の激化		3.7		3.8		4.2		3.7		4.2		5.7		6.8		5.4		
合理化の不足		3.2		2.3		3.3		5.6		4.7		3.8		3.9		2.9		
利幅の縮小		23.4		19.7		20.1		15.9		18.2		16.2		20.8		19.5		
原材料高		11.5		11.7		15.9		10.3		14.5		18.6		22.7		16.1		
販売納入先からの値下げ要請		9.6		10.3		7.9		7.9		7.9		8.6		7.2		8.3		
仕入先からの値上げ要請		2.8		2.8		3.3		3.7		3.3		4.3		4.8		4.9		
人件費の増加		2.3		4.2		3.7		5.6		4.2		6.7		5.3		6.3		
人件費以外の経費増加		1.4		1.9		2.3		1.9		1.4		2.9		2.4		2.4		
工場・機械の狭小・老朽化		7.8		7.0		9.8		14.5		11.7		12.4		7.2		10.7		
生産能力の不足		2.8		2.8		3.7		4.7		3.7		5.2		4.3		5.9		
下請の確保難		3.7		4.2		3.3		4.7		6.5		3.8		3.4		2.9		
代金回収の悪化		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		1.0		1.0		1.0		
地価の高騰		-		-		-		-		-		0.5		-		-		
天候の不順		0.9		0.9		0.5		2.8		0.5		1.0		1.4		1.0		
地場産業の衰退		2.8		4.2		2.8		2.8		2.8		2.4		2.9		3.9		
大手企業・工場の縮小・撤退		0.9		1.4		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		1.0		
為替レートの変動		0.5		0.5		-		0.5		0.5		0.5		0.5		-		
その他		0.5		-		-		0.5		0.5		0.5		-		1.0		
問題なし	12.4		13.1		12.6		12.6		13.1		11.4		11.6		9.8			
重点経営施策(%)	販路を広げる	59.6		54.9		53.3		50.5		47.7		51.4		53.1		51.7		
	経費を節減する	46.8		46.9		43.5		37.9		42.1		41.4		42.0		43.4		
	情報力を強化する	12.8		14.1		15.4		13.1		10.7		13.3		13.0		12.7		
	新製品・技術を開発する	11.0		12.7		12.1		10.3		11.7		10.0		10.6		10.7		
	不採算部門を整理・縮小する	1.8		2.3		4.7		3.7		3.7		3.3		3.4		2.9		
	提携先を見つける	8.3		8.5		9.3		10.7		10.7		11.0		10.1		9.3		
	機械化を推進する	6.4		7.0		7.0		7.0		6.1		7.6		7.2		6.3		
	人材を確保する	11.9		16.0		12.6		13.1		14.5		15.2		13.0		15.1		
	パート化を図る	-		0.5		2.3		1.9		1.9		1.9		1.9		1.5		
	教育訓練を強化する	3.2		4.2		2.3		2.8		4.7		3.3		2.9		2.4		
	労働条件を改善する	1.4		3.3		1.4		2.3		0.9		1.4		1.9		3.4		
	工場・機械を増設・移転する	2.8		1.4		3.3		5.6		3.7		3.3		3.4		3.4		
	不動産の有効活用を図る	0.9		1.4		2.3		1.4		0.5		1.0		1.4		1.5		
	その他	-		0.5		-		-		0.5		0.5		-		-		
	特になし	15.1		13.6		15.0		17.8		16.4		14.3		15.5		15.1		
有効回答事業所数	218		213		214		214		214		210		207		205			

# 小売業

## 転記表 No.1

平成30年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10~12 月期
		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期			
業 況	良 い	3.9	6.9	6.0	3.9	4.0	5.1	6.1	5.1	5.1	6.2	6.5	6.3	10.1	5.5	9.3	9.3		7.4
	普 通	53.9	50.9	59.0	56.9	64.3	59.5	65.6	62.2	63.6	66.0	62.3	63.2	60.6	59.3	58.7	62.9		64.9
	悪 い	42.2	42.2	35.0	39.2	31.7	35.4	28.3	32.7	31.3	27.8	31.2	30.5	29.3	35.2	32.0	27.8		27.7
	D・I	-38.3	-35.3	-29.0	-35.3	-27.7	-30.3	-22.2	-27.6	-26.2	-21.6	-24.7	-24.2	-19.2	-29.7	-22.7	-18.5		-20.3
	修 正 値	<b>-39.6</b>	<b>-35.0</b>	<b>-31.7</b>	<b>-36.1</b>	<b>-33.1</b>	<b>-32.5</b>	<b>-23.4</b>	<b>-32.0</b>	<b>-26.3</b>	<b>-23.6</b>	<b>-25.9</b>	<b>-24.8</b>	<b>-24.9</b>	<b>-29.5</b>	<b>-23.3</b>	<b>-23.2</b>	<b>1.6</b>	<b>-22.8</b>
	傾 向 値	-36.8		-36.1		-34.4		-31.4		-27.8		-25.7		-24.1		-23.1			
売 上 額	増 加	6.9	5.8	5.9	4.9	5.9	6.0	7.1	5.0	9.1	2.0	5.3	4.1	6.1	3.3	11.3	1.0		7.2
	変 ら ず	62.7	68.0	66.4	66.7	76.3	65.0	72.7	77.2	71.7	81.7	71.3	74.5	66.6	75.0	68.1	78.6		76.3
	減 少	30.4	26.2	27.7	28.4	17.8	29.0	20.2	17.8	19.2	16.3	23.4	21.4	27.3	21.7	20.6	20.4		16.5
	D・I	-23.5	-20.4	-21.8	-23.5	-11.9	-23.0	-13.1	-12.8	-10.1	-14.3	-18.1	-17.3	-21.2	-18.4	-9.3	-19.4		-9.3
	修 正 値	<b>-25.3</b>	<b>-21.3</b>	<b>-24.9</b>	<b>-25.2</b>	<b>-18.9</b>	<b>-23.8</b>	<b>-13.2</b>	<b>-17.5</b>	<b>-12.6</b>	<b>-16.1</b>	<b>-17.9</b>	<b>-18.2</b>	<b>-25.0</b>	<b>-17.7</b>	<b>-10.1</b>	<b>-22.6</b>	<b>14.9</b>	<b>-13.1</b>
	傾 向 値	-26.7		-25.7		-23.7		-19.8		-15.9		-13.8		-14.5		-15.2			
収 益	増 加	6.9	6.8	5.0	4.9	5.9	5.0	6.1	3.0	10.1	2.0	3.2	5.1	4.0	3.3	12.4	3.1		9.3
	変 ら ず	62.7	68.0	65.3	67.6	75.3	65.0	72.7	77.2	66.7	77.6	72.3	71.4	68.7	71.7	66.0	75.5		74.2
	減 少	30.4	25.2	29.7	27.5	18.8	30.0	21.2	19.8	23.2	20.4	24.5	23.5	27.3	25.0	21.6	21.4		16.5
	D・I	-23.5	-18.4	-24.7	-22.6	-12.9	-25.0	-15.1	-16.8	-13.1	-18.4	-21.3	-18.4	-23.3	-21.7	-9.2	-18.3		-7.2
	修 正 値	<b>-25.7</b>	<b>-19.9</b>	<b>-27.9</b>	<b>-25.4</b>	<b>-19.1</b>	<b>-25.6</b>	<b>-15.3</b>	<b>-20.2</b>	<b>-15.3</b>	<b>-20.6</b>	<b>-21.3</b>	<b>-19.3</b>	<b>-26.9</b>	<b>-20.7</b>	<b>-10.9</b>	<b>-21.4</b>	<b>16.0</b>	<b>-12.3</b>
	傾 向 値	-27.6		-26.9		-24.4		-20.7		-17.8		-16.0		-16.9		-17.5			
価 格 動 向	販 売 価 格	-1.9	-6.8	-4.0	-3.9	2.0	-4.0	2.1	2.0	6.0	4.1	2.1	3.1	9.0	1.1	4.1	8.1		2.1
	〃 修 正 値	<b>-1.8</b>	<b>-5.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-2.3</b>	<b>-0.6</b>	<b>-8.3</b>	<b>1.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>4.5</b>	<b>4.5</b>	<b>1.2</b>	<b>3.7</b>	<b>5.6</b>	<b>-2.3</b>	<b>4.9</b>	<b>5.3</b>	<b>-0.7</b>	<b>3.1</b>
	〃 傾 向 値	-4.5		-5.0		-3.8		-1.6		0.5		2.3		3.9		5.1			
	仕 入 価 格	8.8	-2.0	8.9	4.9	7.9	5.0	9.1	9.9	10.1	7.2	8.5	9.2	12.2	5.5	8.2	11.2		3.1
	〃 修 正 値	<b>8.0</b>	<b>0.6</b>	<b>8.5</b>	<b>5.0</b>	<b>6.2</b>	<b>3.2</b>	<b>10.1</b>	<b>7.6</b>	<b>9.1</b>	<b>9.5</b>	<b>8.0</b>	<b>8.9</b>	<b>10.7</b>	<b>3.8</b>	<b>9.7</b>	<b>9.3</b>	<b>-1.0</b>	<b>5.7</b>
	〃 傾 向 値	4.1		4.5		5.4		7.3		8.8		9.0		9.4		9.9			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-1.0	0.0	-1.0	-2.0	1.0	-1.0	-4.1	0.0	3.0	-3.1	-3.2	2.0	-1.0	-5.4	-6.1	-3.0		-7.2
	〃 修 正 値	<b>-2.3</b>	<b>-0.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>-2.2</b>	<b>0.6</b>	<b>-0.6</b>	<b>-2.2</b>	<b>-0.6</b>	<b>1.7</b>	<b>-2.6</b>	<b>-3.2</b>	<b>1.5</b>	<b>-2.0</b>	<b>-4.9</b>	<b>-3.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-1.1</b>	<b>-5.4</b>
	資 金 繰 り	-14.7	-17.5	-15.8	-12.8	-13.8	-17.2	-9.0	-13.9	-16.2	-7.1	-16.1	-15.3	-16.2	-16.5	-14.4	-16.3		-12.4
	〃 修 正 値	<b>-16.3</b>	<b>-17.8</b>	<b>-18.7</b>	<b>-14.0</b>	<b>-16.1</b>	<b>-18.6</b>	<b>-9.5</b>	<b>-16.2</b>	<b>-16.8</b>	<b>-8.7</b>	<b>-17.1</b>	<b>-15.3</b>	<b>-18.2</b>	<b>-16.7</b>	<b>-14.8</b>	<b>-18.0</b>	<b>3.4</b>	<b>-14.2</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-26.5		-22.8		-15.9		-13.1		-17.1		-23.4		-15.1		-13.4			
	取 益	-27.4		-24.8		-15.8		-17.1		-18.1		-25.6		-23.2		-16.5			
	販 売 価 格	4.9		-2.0		4.9		5.1		9.1		7.4		9.1		7.2			
雇 用	残 業 時 間	-5.0	-3.0	-7.1	-3.1	-4.0	-6.1	-1.0	-3.0	-4.1	0.0	-2.2	-3.1	-5.1	0.0	-2.1	-5.1		-2.1
	人 手	-4.9	-5.9	0.0	-5.1	-5.9	-1.0	-5.1	-4.0	-6.1	-5.2	-4.2	-7.1	-6.2	-5.4	-6.3	-5.1		-7.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	8.8	5.7	10.9	5.9	10.9	7.0	14.3	4.1	9.1	5.2	10.6	6.1	11.1	5.4	11.5	10.3		7.4
	借入しない/借入の予定なし(%)	91.2	94.3	89.1	94.1	89.1	93.0	85.7	95.9	90.9	94.8	89.4	93.9	88.9	94.6	88.5	89.7		92.6
	借 入 難 易 度	<b>-16.6</b>		<b>-12.1</b>		<b>-10.6</b>		<b>-11.4</b>		<b>-9.2</b>		<b>-8.8</b>		<b>-16.9</b>		<b>-12.1</b>			
有効回答事業所数		102		102		101		100		101		95		100		97			

# 小売業

# 転記表 No.2

平成30年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期	
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期			7月～9月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-8.0	-4.0	-3.0	-8.0	-5.0	-6.1	-6.1	-7.0	-5.1	-7.1	-6.4	-7.1	-7.1	-8.7	-8.3	-6.3	-8.4
	実施した・予定あり	3.0	1.0	6.3	4.1	7.1	2.2	4.2	4.2	4.0	2.2	1.1	5.1	6.1	2.3	3.2	7.3	5.4
	事業用土地・建物	33.3	-	-	75.0	28.6	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	33.3	-	33.3	28.6	20.0
	事務機器	33.3	-	33.3	-	28.6	-	25.0	25.0	25.0	-	100.0	60.0	33.3	50.0	33.3	14.3	20.0
	車両	-	-	33.3	-	14.3	-	25.0	-	-	-	100.0	40.0	33.3	-	-	28.6	40.0
	その他	33.3	100.0	50.0	50.0	28.6	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	40.0	16.7	50.0	66.7	42.9	40.0
	実施しない・予定なし	97.0	99.0	93.7	95.9	92.9	97.8	95.8	95.8	96.0	97.8	98.9	94.9	93.9	97.7	96.8	92.7	94.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	47.1		52.9		41.6		51.0		46.5		45.3		43.0		43.3		
	人手不足	2.9		2.9		7.9		7.0		6.9		6.3		8.0		7.2		
	同業者間の競争の激化	33.3		32.4		26.7		29.0		25.7		25.3		25.0		26.8		
	大型店との競争の激化	35.3		40.2		37.6		35.0		29.7		29.5		35.0		30.9		
	輸入製品との競争の激化	2.0		1.0		2.0		3.0		3.0		2.1		4.0		2.1		
	利幅の縮小	6.9		10.8		11.9		9.0		10.9		7.4		10.0		9.3		
	取扱商品の陳腐化	4.9		3.9		3.0		2.0		1.0		1.1		1.0		4.1		
	販売商品の不足	3.9		2.0		3.0		3.0		4.0		3.2		3.0		4.1		
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		1.0		1.0		-		-		-		
	仕入先からの値上げ要請	4.9		2.0		5.0		5.0		4.0		8.4		9.0		6.2		
	人件費の増加	3.9		4.9		4.0		3.0		2.0		2.1		2.0		2.1		
	人件費以外の経費の増加	2.0		1.0		-		-		2.0		1.1		-		1.0		
	取引先の減少	6.9		6.9		6.9		6.0		10.9		6.3		7.0		6.2		
	商圏人口の減少	8.8		11.8		9.9		6.0		10.9		10.5		6.0		11.3		
	商店街の集客力の低下	13.7		12.7		10.9		10.0		13.9		11.6		14.0		10.3		
	店舗の狭小・老朽化	2.9		2.0		4.0		4.0		5.9		6.3		5.0		6.2		
	代金回収の悪化	1.0		1.0		-		1.0		-		-		1.0		-		
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-		
	駐車場の確保難	-		1.0		1.0		-		2.0		1.1		1.0		1.0		
	天候の不順	2.9		1.0		3.0		3.0		2.0		2.1		1.0		1.0		
地場産業の衰退	1.0		1.0		2.0		1.0		-		1.1		1.0		2.1			
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		1.0		-		-		-		-			
その他	-		2.0		1.0		-		-		1.1		3.0		2.1			
問題なし	10.8		11.8		13.9		9.0		8.9		12.6		9.0		8.2			
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	38.2		30.4		31.7		28.0		24.8		26.3		27.0		32.0		
	経費を節減する	36.3		36.3		34.7		32.0		30.7		34.7		31.0		30.9		
	宣伝・広報を強化する	26.5		28.4		24.8		30.0		26.7		28.4		26.0		24.7		
	新しい事業を始める	-		2.0		1.0		-		1.0		-		-		-		
	店舗・設備を改装する	5.9		5.9		4.0		5.0		5.9		5.3		5.0		3.1		
	仕入先を開拓・選別する	6.9		5.9		5.0		4.0		7.9		5.3		8.0		7.2		
	営業時間を延長する	2.9		4.9		5.0		4.0		4.0		3.2		3.0		3.1		
	売れ筋商品を取り扱う	24.5		16.7		24.8		23.0		23.8		21.1		24.0		19.6		
	商店街事業を活性化させる	11.8		13.7		15.8		18.0		17.8		20.0		19.0		17.5		
	機械化を推進する	1.0		1.0		-		-		-		-		1.0		-		
	人材を確保する	2.0		3.9		5.0		4.0		5.0		2.1		5.0		3.1		
	パート化を図る	-		-		-		2.0		1.0		1.1		1.0		1.0		
	教育訓練を強化する	2.9		1.0		2.0		3.0		5.0		4.2		4.0		4.1		
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-		
	不動産の有効活用を図る	-		1.0		1.0		1.0		2.0		3.2		4.0		3.1		
	その他	1.0		1.0		1.0		-		-		-		-		-		
	特になし	17.6		18.6		21.8		15.0		19.8		20.0		18.0		18.6		
有効回答事業所数	102		102		101		100		101		95		100		97			

# サービス業

## 転記表 No.1

平成30年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
業 況	良 い	9.7	5.6	10.0	11.1	12.7	8.6	9.3	8.6	9.5	10.8	13.5	13.5	8.2	15.3	13.3	8.5		12.0
	普 通	61.1	66.6	60.0	59.7	60.5	60.0	64.0	65.7	62.1	64.9	56.8	63.5	71.3	61.1	61.4	70.4		66.7
	悪 い	29.2	27.8	30.0	29.2	26.8	31.4	26.7	25.7	28.4	24.3	29.7	23.0	20.5	23.6	25.3	21.1		21.3
	D・I	-19.5	-22.2	-20.0	-18.1	-14.1	-22.8	-17.4	-17.1	-18.9	-13.5	-16.2	-9.5	-12.3	-8.3	-12.0	-12.6		-9.3
	<b>修正値</b>	<b>-20.2</b>	<b>-26.3</b>	<b>-18.5</b>	<b>-17.5</b>	<b>-17.2</b>	<b>-23.6</b>	<b>-20.3</b>	<b>-18.7</b>	<b>-17.7</b>	<b>-16.7</b>	<b>-15.4</b>	<b>-9.3</b>	<b>-14.7</b>	<b>-9.2</b>	<b>-15.1</b>	<b>-12.5</b>	<b>-0.4</b>	<b>-11.4</b>
	傾 向 値	-23.7		-21.2		-19.5		-18.2		-17.7		-17.1		-16.4		-15.5			
売 上 額	増 加	11.1	4.1	5.7	11.1	11.3	7.1	13.3	12.9	9.5	12.2	13.5	15.1	16.4	12.3	16.0	12.7		13.3
	変 ら ず	62.5	64.4	62.9	63.9	61.9	62.9	60.0	64.2	62.1	64.8	59.5	64.4	63.1	68.5	62.7	67.6		70.7
	減 少	26.4	31.5	31.4	25.0	26.8	30.0	26.7	22.9	28.4	23.0	27.0	20.5	20.5	19.2	21.3	19.7		16.0
	D・I	-15.3	-27.4	-25.7	-13.9	-15.5	-22.9	-13.4	-10.0	-18.9	-10.8	-13.5	-5.4	-4.1	-6.9	-5.3	-7.0		-2.7
	<b>修正値</b>	<b>-17.4</b>	<b>-28.7</b>	<b>-22.0</b>	<b>-12.9</b>	<b>-20.4</b>	<b>-23.3</b>	<b>-13.9</b>	<b>-13.8</b>	<b>-19.3</b>	<b>-11.7</b>	<b>-11.0</b>	<b>-6.3</b>	<b>-9.1</b>	<b>-7.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>3.3</b>	<b>-3.0</b>
	傾 向 値	-21.0		-19.3		-20.2		-19.1		-17.9		-16.9		-13.9		-11.5			
収 益	増 加	6.9	5.5	4.3	8.3	12.7	4.3	10.7	11.4	6.8	9.5	10.8	12.3	12.3	9.6	13.3	8.5		9.3
	変 ら ず	68.1	68.5	64.3	66.7	60.5	64.3	61.3	62.9	63.5	66.2	63.5	65.8	60.3	67.1	60.0	67.6		68.0
	減 少	25.0	26.0	31.4	25.0	26.8	31.4	28.0	25.7	29.7	24.3	25.7	21.9	27.4	23.3	26.7	23.9		22.7
	D・I	-18.1	-20.5	-27.1	-16.7	-14.1	-27.1	-17.3	-14.3	-22.9	-14.8	-14.9	-9.6	-15.1	-13.7	-13.4	-15.4		-13.4
	<b>修正値</b>	<b>-16.1</b>	<b>-23.9</b>	<b>-23.5</b>	<b>-12.5</b>	<b>-21.3</b>	<b>-26.0</b>	<b>-19.7</b>	<b>-19.4</b>	<b>-20.4</b>	<b>-17.4</b>	<b>-12.3</b>	<b>-7.3</b>	<b>-20.0</b>	<b>-11.7</b>	<b>-14.8</b>	<b>-17.5</b>	<b>5.2</b>	<b>-14.5</b>
	傾 向 値	-19.8		-18.5		-19.7		-19.7		-19.8		-18.8		-17.4		-17.1			
業 況 動 向	料 金 価 格	-2.8	-2.7	-7.2	-1.4	-4.2	-7.2	0.0	-4.3	-1.3	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	-4.0	-1.4		-1.3
	〃 <b>修正値</b>	<b>0.0</b>	<b>-1.9</b>	<b>-7.0</b>	<b>-0.4</b>	<b>-6.5</b>	<b>-7.8</b>	<b>-1.7</b>	<b>-5.5</b>	<b>0.3</b>	<b>-0.4</b>	<b>0.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>1.3</b>	<b>-1.6</b>	<b>-4.6</b>	<b>-2.1</b>	<b>-5.9</b>	<b>-1.2</b>
	〃 傾 向 値	-2.9		-2.1		-3.0		-3.6		-3.4		-2.1		0.0		0.6			
	材 料 価 格	7.1	8.2	11.8	5.7	10.0	7.4	12.2	15.9	18.9	12.3	18.9	16.5	20.6	13.7	16.0	16.9		14.7
	〃 <b>修正値</b>	<b>9.5</b>	<b>6.7</b>	<b>11.6</b>	<b>6.1</b>	<b>7.7</b>	<b>9.0</b>	<b>9.8</b>	<b>13.0</b>	<b>19.7</b>	<b>10.1</b>	<b>18.0</b>	<b>16.5</b>	<b>18.4</b>	<b>14.5</b>	<b>15.8</b>	<b>14.5</b>	<b>-2.6</b>	<b>14.5</b>
	〃 傾 向 値	7.9		9.2		10.1		10.1		11.8		14.1		16.3		18.1			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-8.4	-15.1	-14.3	-12.5	-9.9	-18.6	-13.4	-8.6	-16.2	-17.5	-10.8	-11.0	-13.7	-8.2	-8.1	-11.3		-12.0
	〃 <b>修正値</b>	<b>-6.6</b>	<b>-18.5</b>	<b>-12.8</b>	<b>-9.6</b>	<b>-11.3</b>	<b>-18.3</b>	<b>-17.3</b>	<b>-10.2</b>	<b>-14.9</b>	<b>-19.7</b>	<b>-10.4</b>	<b>-10.0</b>	<b>-14.3</b>	<b>-9.2</b>	<b>-11.8</b>	<b>-12.4</b>	<b>2.5</b>	<b>-12.8</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-20.8		-15.7		-4.2		-13.3		-20.3		-12.2		-1.4		-8.0			
	収 益	-15.3		-20.0		-9.8		-20.0		-21.6		-20.2		-15.3		-13.3			
雇 用	残 業 時 間	-9.7	-5.5	-8.6	-8.5	-4.3	-2.9	-4.0	-1.5	-12.2	-1.3	2.7	-5.5	-8.2	1.3	-4.0	-10.0		-5.3
	人 手	-19.4	-12.4	-21.4	-15.5	-16.9	-21.4	-17.3	-14.2	-16.2	-17.8	-16.2	-16.4	-20.5	-16.2	-20.2	-17.1		-20.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	18.1	6.8	10.0	8.5	12.9	4.3	13.3	2.9	13.5	6.8	13.7	5.5	9.7	8.2	5.4	5.7		6.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	81.9	93.2	90.0	91.5	87.1	95.7	86.7	97.1	86.5	93.2	86.3	94.5	90.3	91.8	94.6	94.3		93.2
	借 入 難 易 度	0.0		-10.9		-8.0		0.0		-2.1		-4.1		-10.2		-2.2			
有効回答事業所数		72		70		71		75		74		74		74		75			

# サービス業

# 転記表 No.2

平成30年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		28年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.5	-2.8	-11.4	-6.9	-7.1	-11.6	-13.4	-5.7	-8.1	-9.9	-4.1	-8.2	-6.8	-1.4	-6.7	-8.6	-8.3
	実施した・予定あり	13.2	8.7	13.2	11.8	17.6	7.6	18.1	17.6	12.5	18.6	16.9	13.9	12.7	15.9	14.7	13.0	15.3
	事業用土地・建物	11.1	16.7	11.1	12.5	8.3	20.0	15.4	8.3	44.4	15.4	16.7	30.0	33.3	9.1	18.2	22.2	18.2
	機械・設備の新・増設	22.2	33.3	44.4	37.5	33.3	40.0	23.1	33.3	44.4	23.1	25.0	60.0	22.2	36.4	18.2	11.1	27.3
	機械・設備の更改	-	33.3	22.2	-	33.3	-	23.1	33.3	22.2	7.7	25.0	20.0	33.3	18.2	9.1	22.2	9.1
	事務機器	22.2	16.7	22.2	25.0	16.7	20.0	23.1	16.7	22.2	23.1	8.3	20.0	11.1	9.1	18.2	33.3	27.3
	車両	55.6	33.3	33.3	25.0	50.0	40.0	38.5	41.7	11.1	46.2	50.0	20.0	55.6	45.5	63.6	88.9	63.6
	その他	33.3	-	11.1	25.0	8.3	-	15.4	8.3	11.1	7.7	16.7	-	11.1	18.2	9.1	-	9.1
	実施しない・予定なし	86.8	91.3	86.8	88.2	82.4	92.4	81.9	82.4	87.5	81.4	83.1	86.1	87.3	84.1	85.3	87.0	84.7
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	34.7		34.3		29.6		28.0		32.4		35.1		28.4		25.3	
人手不足		13.9		24.3		18.3		17.3		23.0		16.2		23.0		22.7		
同業者間の競争の激化		40.3		41.4		42.3		38.7		39.2		39.2		40.5		38.7		
大企業との競争の激化		15.3		11.4		12.7		13.3		13.5		10.8		13.5		12.0		
合理化の不足		4.2		-		4.2		2.7		4.1		-		2.7		2.7		
利幅の縮小		15.3		14.3		9.9		18.7		14.9		17.6		14.9		10.7		
取扱事務の陳腐化		-		-		2.8		-		-		-		-		-		
材料価格の上昇		6.9		8.6		9.9		12.0		8.1		10.8		13.5		13.3		
料金の値下げ要請		2.8		-		2.8		-		-		1.4		4.1		-		
人件費の増加		8.3		7.1		7.0		4.0		5.4		6.8		5.4		6.7		
人件費以外の経費の増加		1.4		2.9		4.2		2.7		2.7		4.1		4.1		4.0		
技術力の不足		2.8		7.1		5.6		1.3		2.7		5.4		1.4		2.7		
取引先の減少		4.2		7.1		9.9		8.0		6.8		13.5		5.4		9.3		
商圏人口の減少		5.6		7.1		4.2		8.0		9.5		6.8		8.1		6.7		
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-		
駐車場の確保難		1.4		2.9		4.2		2.7		1.4		2.7		4.1		2.7		
店舗・設備の狭小・老朽化		6.9		5.7		4.2		9.3		4.1		6.8		6.8		8.0		
代金回収の悪化		1.4		1.4		1.4		-		-		-		-		-		
天候の不順		4.2		2.9		4.2		4.0		1.4		2.7		1.4		2.7		
地場産業の衰退		1.4		1.4		1.4		1.3		1.4		1.4		1.4		1.3		
大手企業・工場の縮小・撤退		1.4		-		-		-		-		1.4		1.4		1.3		
その他		1.4		1.4		1.4		-		1.4		-		-		-		
問題なし		11.1		11.4		11.3		12.0		10.8		6.8		8.1		12.0		
重点経営施策(%)	販路を広げる	33.3		37.1		31.0		34.7		39.2		40.5		36.5		28.0		
	経費を節減する	36.1		34.3		29.6		40.0		36.5		37.8		35.1		36.0		
	宣伝・広告を強化する	30.6		21.4		22.5		25.3		25.7		24.3		24.3		22.7		
	新しい事業を始める	1.4		1.4		4.2		1.3		2.7		1.4		2.7		2.7		
	店舗・設備を改装する	5.6		4.3		4.2		6.7		4.1		5.4		9.5		5.3		
	提携先を見つける	8.3		7.1		9.9		9.3		10.8		10.8		14.9		10.7		
	技術力を強化する	12.5		18.6		14.1		12.0		9.5		10.8		10.8		12.0		
	機械化を推進する	-		-		-		1.3		1.4		-		2.7		-		
	人材を確保する	18.1		12.9		12.7		18.7		18.9		17.6		16.2		18.7		
	パート化を図る	4.2		1.4		4.2		-		-		-		1.4		2.7		
	教育訓練を強化する	8.3		10.0		8.5		5.3		6.8		13.5		6.8		5.3		
	労働条件を改善する	2.8		7.1		5.6		6.7		8.1		8.1		5.4		5.3		
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-		
	その他	-		-		-		-		-		-		1.4		-		
	特になし	20.8		20.0		18.3		21.3		17.6		14.9		16.2		16.0		
有効回答事業所数	72		70		71		75		74		74		74		75			

# 建設業

## 転記表 No.1

平成30年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期		
業 況	良 い	18.3	14.5	18.6	20.0	24.6	16.9	22.6	18.0	26.6	17.7	25.0	23.4	23.4	20.6	20.3	28.1		23.8
	普 通	63.4	69.4	69.5	61.7	55.7	69.5	59.7	68.9	59.3	66.2	64.1	62.5	57.8	66.7	62.5	61.0		65.1
	悪 い	18.3	16.1	11.9	18.3	19.7	13.6	17.7	13.1	14.1	16.1	10.9	14.1	18.8	12.7	17.2	10.9		11.1
	D・I	0.0	-1.6	6.7	1.7	4.9	3.3	4.9	4.9	12.5	1.6	14.1	9.3	4.6	7.9	3.1	17.2		12.7
	修正値	<b>-2.0</b>	<b>-3.5</b>	<b>1.5</b>	<b>3.6</b>	<b>2.4</b>	<b>2.1</b>	<b>6.7</b>	<b>-2.0</b>	<b>9.5</b>	<b>0.5</b>	<b>7.6</b>	<b>9.7</b>	<b>4.6</b>	<b>6.9</b>	<b>8.4</b>	<b>11.5</b>	<b>3.8</b>	<b>15.1</b>
	傾向値	-1.4		-1.2		0.1		2.5		5.7		8.2		9.1		8.8			
売 上 額	増 加	23.3	14.5	23.7	23.3	32.8	15.3	30.6	23.0	40.6	19.4	28.1	25.0	31.3	21.9	31.3	35.9		26.6
	変 ら ず	68.4	74.2	57.7	63.4	49.2	64.4	51.7	63.9	46.9	62.9	57.8	62.5	54.6	68.7	51.5	53.2		62.5
	減 少	8.3	11.3	18.6	13.3	18.0	20.3	17.7	13.1	12.5	17.7	14.1	12.5	14.1	9.4	17.2	10.9		10.9
	D・I	15.0	3.2	5.1	10.0	14.8	-5.0	12.9	9.9	28.1	1.7	14.0	12.5	17.2	12.5	14.1	25.0		15.7
	修正値	<b>9.9</b>	<b>4.6</b>	<b>3.3</b>	<b>8.2</b>	<b>14.5</b>	<b>-5.2</b>	<b>11.5</b>	<b>4.9</b>	<b>19.9</b>	<b>2.5</b>	<b>12.6</b>	<b>8.1</b>	<b>19.1</b>	<b>13.0</b>	<b>16.0</b>	<b>18.9</b>	<b>-3.1</b>	<b>20.6</b>
	傾向値	3.5		5.6		7.9		11.0		13.6		16.3		17.8		18.2			
受 注 残	増 加	18.3	14.5	20.3	21.7	23.0	11.9	22.6	16.4	31.3	16.1	21.9	21.9	26.6	18.8	25.0	28.1		21.9
	変 ら ず	75.0	75.8	66.1	68.3	62.2	76.2	66.1	68.8	59.3	72.6	67.2	65.6	64.0	71.8	56.2	65.6		67.2
	減 少	6.7	9.7	13.6	10.0	14.8	11.9	11.3	14.8	9.4	11.3	10.9	12.5	9.4	9.4	18.8	6.3		10.9
	D・I	11.6	4.8	6.7	11.7	8.2	0.0	11.3	1.6	21.9	4.8	11.0	9.4	17.2	9.4	6.2	21.8		11.0
	修正値	<b>7.5</b>	<b>3.9</b>	<b>3.6</b>	<b>10.9</b>	<b>8.2</b>	<b>-2.3</b>	<b>12.4</b>	<b>-0.2</b>	<b>15.1</b>	<b>3.8</b>	<b>6.8</b>	<b>6.7</b>	<b>20.3</b>	<b>6.9</b>	<b>10.3</b>	<b>20.4</b>	<b>-10.0</b>	<b>14.1</b>
	傾向値	2.6		3.5		5.0		8.0		10.7		12.6		14.2		14.7			
施 工 高	増 加	18.3	9.7	15.3	16.7	18.0	8.5	17.7	14.8	23.4	14.5	23.4	21.9	28.6	21.9	21.9	33.3		18.8
	変 ら ず	71.7	80.6	69.4	68.3	68.9	76.2	69.4	73.7	68.8	74.2	65.7	70.3	60.3	70.3	62.5	58.8		73.4
	減 少	10.0	9.7	15.3	15.0	13.1	15.3	12.9	11.5	7.8	11.3	10.9	7.8	11.1	7.8	15.6	7.9		7.8
	D・I	8.3	0.0	0.0	1.7	4.9	-6.8	4.8	3.3	15.6	3.2	12.5	14.1	17.5	14.1	6.3	25.4		11.0
	修正値	<b>2.1</b>	<b>-1.3</b>	<b>-0.9</b>	<b>0.4</b>	<b>8.6</b>	<b>-5.3</b>	<b>3.7</b>	<b>0.1</b>	<b>8.5</b>	<b>2.4</b>	<b>9.5</b>	<b>9.6</b>	<b>19.5</b>	<b>14.4</b>	<b>8.4</b>	<b>21.6</b>	<b>-11.1</b>	<b>13.6</b>
	傾向値	-0.7		0.7		2.7		4.1		5.4		7.9		11.0		12.8			
収 益	増 加	16.7	9.7	16.9	15.0	16.4	8.5	19.4	11.5	26.6	8.1	14.1	18.8	20.3	15.6	20.3	23.4		17.2
	変 ら ず	70.0	77.4	61.1	65.0	65.6	72.9	64.5	75.4	59.3	75.8	70.3	64.0	64.1	71.9	64.1	67.2		71.9
	減 少	13.3	12.9	22.0	20.0	18.0	18.6	16.1	13.1	14.1	16.1	15.6	17.2	15.6	12.5	15.6	9.4		10.9
	D・I	3.4	-3.2	-5.1	-5.0	-1.6	-10.1	3.3	-1.6	12.5	-8.0	-1.5	1.6	4.7	3.1	4.7	14.0		6.3
	修正値	<b>-2.5</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.8</b>	<b>-6.4</b>	<b>-1.5</b>	<b>-8.8</b>	<b>2.2</b>	<b>-5.2</b>	<b>5.4</b>	<b>-9.2</b>	<b>-2.1</b>	<b>-1.7</b>	<b>5.2</b>	<b>2.4</b>	<b>5.8</b>	<b>10.5</b>	<b>0.6</b>	<b>6.9</b>
	傾向値	-3.1		-2.4		-2.4		-1.2		1.1		2.7		4.0		4.9			
価 格 動 向	請 負 価 格	-3.3	-11.3	-5.1	-3.3	-6.5	-6.8	-4.8	-3.2	3.2	-1.6	-1.6	0.0	-1.5	1.6	-3.2	1.5		1.5
	〃 修正値	<b>-4.6</b>	<b>-13.1</b>	<b>-3.7</b>	<b>-3.1</b>	<b>-6.5</b>	<b>-7.3</b>	<b>-7.6</b>	<b>-3.8</b>	<b>-0.8</b>	<b>-3.8</b>	<b>-0.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>0.1</b>	<b>1.5</b>	<b>-4.0</b>	<b>2.0</b>	<b>-4.1</b>	<b>1.5</b>
	〃 傾向値	-4.4		-5.3		-5.3		-5.1		-4.1		-2.9		-1.8		-1.0			
	材 料 価 格	15.0	14.5	23.7	15.0	26.2	23.7	18.0	19.7	27.0	18.1	27.0	23.8	33.3	27.0	26.5	33.3		17.2
	〃 修正値	<b>13.0</b>	<b>13.7</b>	<b>26.2</b>	<b>15.0</b>	<b>24.3</b>	<b>24.9</b>	<b>16.8</b>	<b>16.6</b>	<b>24.6</b>	<b>17.3</b>	<b>28.4</b>	<b>22.2</b>	<b>30.0</b>	<b>28.0</b>	<b>27.9</b>	<b>30.8</b>	<b>-2.1</b>	<b>20.2</b>
	〃 傾向値	21.0		19.0		20.2		21.1		22.2		24.1		25.4		27.4			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-3.3	1.6	-1.7	-3.3	-3.3	-3.4	-3.3	-5.0	0.0	-4.9	-3.2	-1.6	-1.6	-4.7	-1.5	-3.2		-3.1
	〃 修正値	<b>-3.9</b>	<b>-0.8</b>	<b>-0.9</b>	<b>-2.3</b>	<b>-2.3</b>	<b>-3.3</b>	<b>-4.2</b>	<b>-4.2</b>	<b>-0.5</b>	<b>-6.1</b>	<b>-2.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>-1.1</b>	<b>-4.4</b>	<b>-1.8</b>	<b>-2.4</b>	<b>-0.7</b>	<b>-3.7</b>
	資 金 繰 り	3.3	-4.9	0.0	-1.6	-3.3	-5.1	1.6	-4.9	-1.6	-3.2	-6.3	3.2	-6.3	-6.2	-6.3	-4.7		-4.6
	〃 修正値	<b>-0.8</b>	<b>-4.5</b>	<b>-1.7</b>	<b>-3.5</b>	<b>-4.1</b>	<b>-6.7</b>	<b>0.3</b>	<b>-6.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-4.1</b>	<b>-8.0</b>	<b>-1.1</b>	<b>-5.7</b>	<b>-7.8</b>	<b>-5.6</b>	<b>-4.9</b>	<b>0.1</b>	<b>-3.5</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	11.7		8.4		9.9		0.0		12.5		10.9		12.5		9.4			
	収 益	6.6		0.0		0.0		-6.4		6.2		3.2		4.7		4.7			
雇 用	残 業 時 間	-3.4	0.0	-6.8	0.0	-11.5	-3.4	1.6	-6.6	0.0	6.5	6.3	0.0	-9.4	9.3	7.8	-1.5		6.4
	人 手	-35.6	-30.2	-30.5	-34.5	-27.9	-30.5	-37.1	-29.5	-35.9	-34.4	-34.4	-35.9	-25.0	-28.1	-37.5	-34.4		-33.9
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	30.0	12.7	31.0	16.9	37.7	25.9	39.3	21.7	45.3	25.0	35.9	26.6	35.9	28.1	34.9	20.6		24.2
	借入しない/借入の予定なし(%)	70.0	87.3	69.0	83.1	62.3	74.1	60.7	78.3	54.7	75.0	64.1	73.4	64.1	71.9	65.1	79.4		75.8
	借入難易度	<b>7.7</b>		<b>7.5</b>		<b>-5.7</b>		<b>7.5</b>		<b>-1.8</b>		<b>1.7</b>		<b>-3.8</b>		<b>-5.6</b>			
有効回答事業所数		60		59		61		62		64		64		64		64			

# 建設業

## 転記表 No.2

平成30年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	28年		29年		29年		29年		29年		30年		30年		30年		対 前期比	30年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.3	-4.8	-1.7	-3.4	-3.3	-3.5	-3.2	-4.9	-3.1	-1.7	0.0	-1.6	-3.2	-4.9	-3.2	-3.2		-3.3
	実施した・予定あり	25.9	22.6	25.9	22.0	29.5	21.1	27.9	23.0	20.3	17.2	25.8	23.4	21.3	21.7	16.4	15.3		25.0
	事業用土地・建物	26.7	21.4	33.3	30.8	16.7	33.3	23.5	21.4	15.4	40.0	25.0	13.3	-	23.1	30.0	11.1		20.0
	機械・設備の新・増設	33.3	21.4	33.3	23.1	27.8	41.7	29.4	21.4	30.8	40.0	25.0	26.7	46.2	38.5	20.0	44.4		20.0
	機械・設備の更改	40.0	35.7	20.0	46.2	33.3	16.7	23.5	28.6	15.4	30.0	25.0	20.0	7.7	7.7	20.0	33.3		13.3
	事務機器	26.7	14.3	46.7	15.4	44.4	41.7	17.6	35.7	30.8	20.0	25.0	13.3	46.2	15.4	30.0	11.1		13.3
	車両	53.3	64.3	60.0	38.5	33.3	58.3	58.8	35.7	69.2	60.0	56.3	73.3	53.8	38.5	50.0	33.3		53.3
	その他	6.7	-	-	-	5.6	-	-	7.1	7.7	-	-	6.7	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	74.1	77.4	74.1	78.0	70.5	78.9	72.1	77.0	79.7	82.8	74.2	76.6	78.7	78.3	83.6	84.7		75.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	23.3		22.0		24.6		14.5		18.8		15.6		20.3		21.9			
	人手不足	36.7		30.5		31.1		41.9		42.2		34.4		35.9		34.4			
	大手企業との競争の激化	15.0		15.3		18.0		12.9		15.6		15.6		17.2		20.3			
	同業者間の競争の激化	38.3		37.3		27.9		30.6		31.3		23.4		28.1		25.0			
	親企業による選別の強化	3.3		3.4		3.3		4.8		1.6		1.6		3.1		1.6			
	合理化の不足	3.3		5.1		1.6		4.8		3.1		1.6		4.7		1.6			
	利幅の縮小	20.0		18.6		18.0		21.0		17.2		14.1		14.1		17.2			
	材料価格の上昇	10.0		22.0		16.4		19.4		18.8		18.8		20.3		18.8			
	下請の確保難	15.0		15.3		23.0		12.9		10.9		12.5		7.8		10.9			
	駐車場・資材置場の確保難	1.7		3.4		3.3		4.8		1.6		3.1		-		6.3			
	人件費の増加	6.7		10.2		13.1		4.8		7.8		14.1		12.5		6.3			
	人件費以外の経費の増加	8.3		1.7		4.9		1.6		1.6		3.1		1.6		3.1			
	技術力の不足	6.7		-		-		6.5		3.1		3.1		6.3		6.3			
	代金回収の悪化	3.3		3.4		3.3		1.6		-		-		3.1		1.6			
	天候の不順	6.7		3.4		4.9		11.3		10.9		14.1		10.9		12.5			
	地場産業の衰退	1.7		-		1.6		-		4.7		-		-		-			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		1.6		-		-		-		3.1		1.6			
その他	1.7		-		-		-		3.1		-		3.1		1.6				
問題なし	13.3		11.9		11.5		11.3		9.4		14.1		9.4		10.9				
重点経営施策(%)	販路を広げる	38.3		37.3		37.7		35.5		32.8		40.6		39.1		31.3			
	経費を節減する	48.3		50.8		37.7		38.7		37.5		34.4		35.9		32.8			
	情報力を強化する	16.7		16.9		21.3		21.0		20.3		12.5		23.4		20.3			
	新しい工法を導入する	1.7		1.7		6.6		3.2		1.6		7.8		3.1		3.1			
	新しい事業を始める	-		1.7		-		4.8		3.1		1.6		1.6		1.6			
	技術力を高める	21.7		32.2		23.0		27.4		28.1		26.6		17.2		17.2			
	人材を確保する	31.7		27.1		36.1		35.5		35.9		42.2		39.1		43.8			
	パート化を図る	1.7		3.4		3.3		3.2		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	8.3		6.8		8.2		6.5		7.8		9.4		7.8		6.3			
	労働条件を改善する	3.3		6.8		8.2		8.1		9.4		6.3		9.4		9.4			
	不動産の有効活用を図る	6.7		5.1		1.6		6.5		-		1.6		4.7		1.6			
	その他	-		1.7		1.6		1.6		1.6		1.6		-		1.6			
特になし	15.0		11.9		14.8		9.7		10.9		12.5		10.9		10.9				
有効回答事業所数	60		59		61		62		64		64		64		64				

**江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係**

TEL:03-5662-0525 (直通) FAX:03-5662-0812